

(様式第 10)

信大病総第 4 2 2 5 号  
平成 2 6 年 1 0 月 2 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

開設者名 国立大学法人 信州大学  
山沢 洋一

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 2 5 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭 3 - 1 - 1
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭 3 - 1 - 1	電話 (0263) 35 - 4600
--------------------------------	---------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等 1. 呼吸器・感染症内科 2. 循環器内科 3. 消化器内科 4. 血液内科 5. 腎臓内科 6. 糖尿病・内分泌内科 7. 脳神経内科	
診療実績 (平成25年度の診療患者数) ・神経 (脳神経内科にて外来患者延10,573名・入院患者延473名)、 ・代謝 (糖尿病・内分泌内科にて外来患者延16,271名、入院患者延473名)、 ・アレルギー疾患 (呼吸器・感染症内科にて外来患者延3,087名・入院患者延17名)、 ・リウマチ科 (内科にて外来患者延7,844名、入院患者延196名)	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	無
外科と組み合わせた診療科名 1. 呼吸器外科 2. 消化器外科 3. 乳腺・内分泌外科 4. 心臓血管外科 5. 小児外科 6. 移植外科 7. 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
---

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	無
歯科と組み合わせた診療科名 1. 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1. リハビリテーション科 2. 病理診断科
------------------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	0床	0床	0床	667床	707床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	291人	158.0人	449.0人	看護補助者	37人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	7.4人	18.4人	理学療法士	16人	臨床検査技師	61人
薬 剤 師	43人	0人	43.0人	作業療法士	11人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	52人	1.0人	53.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	631人	12.6人	643.6人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	18人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯科技工士	2人	事務職員	190人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	37人	その他の職員	27人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	30人	眼科専門医	11人
外科専門医	33人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	19人
小児科専門医	22人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	12人	整形外科専門医	25人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	13人
産婦人科専門医	16人	救急科専門医	12人
		合 計	232人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	580人	9人	589人
1日当たり平均外来患者数	1,457人	64人	1,521人
1日当たり平均調剤数	897.8 剤		
必要医師数	146人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	20人		
必要(准)看護師数	346人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	371 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	10床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	357m <sup>2</sup> 6台	病床数	28床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	116 m <sup>2</sup> 服薬指導室			
化学検査室	508 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置			
細菌検査室	128 m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) Anoxomat Mark II (細菌診断装置)			
病理検査室	232 m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) 凍結組織切片作製装置			
病理解剖室	145 m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) 写真撮影器具			
研究室	241 m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) なし			
講義室	949 m <sup>2</sup>	〃	室数	10室	収容定員	404人
図書室	88 m <sup>2</sup>	〃	室数	1室	蔵書数	6,500冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	75.0%	逆紹介率	52.1%
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,213人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,446人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,385人
	D: 初診の患者の数		18,121人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術は、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	反回神経機能測定	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 甲状腺手術時には、手術操作により反回神経が損傷し、声帯麻痺による嚥声や呼吸困難が生じることがある。術中の反回神経損傷の早期検出のために、大脳皮質運動野を刺激し、声帯の運動を評価する。			
医療技術名	脊髄刺激電極	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 通常の治療にて対応が難しい、難治性の腰下肢痛、上肢痛に対して施行する。脊髄硬膜外腔に入れた電極から、脊髄神経を電気刺激することで、除痛を図る方法である。			
医療技術名	Racz カテーテル硬膜外神経根形成術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 通常の治療で対応困難な神経根症に対して施行する。透視下に、癒着した神経近傍にカテーテルを進め、薬液を集中投与することにより、化学・機械的に癒着剥離を行う方法である。			
医療技術名	バルベルト緑内障インプラント手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 難治性緑内障に対する眼圧降下手術			
医療技術名	樹状細胞ワクチン療法	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 先進医療Aの技術で「樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法」に準じた治療			
医療技術名	肝癌に対するラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 肝癌に対する手術において、腹腔鏡下に肝周囲を剥離授動したのち、小開腹下にてラジオ波を併用して肝離断前凝固による止血を行い、肝切除を施行する手法であり、同法における安全性ならびに治療効果を検討する。			
医療技術名	良性もしくは低悪性膵体尾部腫瘍に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 膵体尾部の良性もしくは低悪性腫瘍に対して、腹腔鏡下に膵脾の授動を行い膵を切離する手術法であり、同法における安全性ならびに治療効果を検討する。			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 肝臓は非常に複雑な機能を持っており、腎臓の悪い患者に対する透析のように機械での代替は難しく、肝臓本来の機能が低下していけば患者はいずれ死亡してしまう。肝移植は、患者の機能を失ったあるいは低下した肝臓を健康な肝臓と交換することにより、患者の命を救うことができる。生体肝移植は、生体ドナーから肝臓の一部を提供してもらい、患者に肝移植を行う。			

医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝臓は非常に複雑な機能を持っており、腎臓の悪い患者に対する透析のように機械での代替は難しく、肝臓本来の機能が低下していけば患者はいずれ死亡してしまう。肝移植は、患者の機能を失ったあるいは低下した肝臓を健康な肝臓と交換することにより、患者の命を救うことができる。脳死肝移植は、脳死者から提供された肝臓を移植する。			
医療技術名	自家液体窒素処理骨移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に対する手術療法に際し、患者自身の罹患骨を用いて再建する方法。切除骨から腫瘍病巣を取り除いた後、液体窒素で冷却処理し、腫瘍切除後の骨欠損部の再建に用いる。従来用いられてきた熱処理等と比較し、軟骨基質の温存、蛋白・酵素の温存が可能で処理後も骨形成因子の活性が保たれるため骨癒合に有利である。術後の関節機能が温存されるほか、容易に処理を行うことができる。			
医療技術名	化学療法に伴うカフェイン併用療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 悪性骨腫瘍又は悪性軟部腫瘍に対し、通常の化学療法の抗がん薬に加えて、カフェインを併用投与することにより、化学療法の効果を増強させる。			
医療技術名	心筋症に対する補助人工心臓	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 心筋症における末期心不全において補助人工心臓を用いて補助を行う。			
医療技術名	臍石症に対するESWL(体外衝撃波結石破碎術)	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 臍石はその性状から内視鏡的な破碎が困難であり、除去に難渋する症例が多い。ESWLは比較的安全に碎石が可能であり、当科での主膵管内結石除去成功率は70%と有効な治療法の一つであるが保険適応はされていない。ESWLの有効性の評価とより有効な治療法(ESWLの使用法・他治療との組み合わせなど)の検討のため、対象症例の治療とデータの蓄積・検討を進めている。			
医療技術名	ITPAの遺伝子多型測定	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のインターフェロン治療副作用予測としてのリバビリン貧血規定遺伝子ITPAの遺伝子多型を測定し副作用発現を予測する。			
医療技術名	心停止に対する体外式心肺補助(ECPR)法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 心停止患者で通常的心肺蘇生法にて蘇生不可能な症例に対して人工心肺装置を用い体外循環にて循環及び呼吸管理を行う。			
医療技術名	低酸素性重症呼吸不全に対する一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 低酸素性重症呼吸不全に微量の一酸化窒素(NO)吸入を行う方法である。NO濃度は1~20ppm程度である。			
医療技術名	全身性ALアミロイドーシスに対する化学療法(自己末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を含む)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 全身性ALアミロイドーシスの原因である骨髄中の異常形質細胞を標的とした化学療法であり、2001年に本邦においては当科で先駆的に開始され、以後も継続的に行い、本邦をリードしている。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた下腿動脈形成術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 エキシマレーザーはキセノンを媒質として発生するレーザー光で、カテーテル先端からエキシマレーザーを照射することにより、生体組織に熱損傷をきたすことなくプラーク病変を蒸散させ、閉塞した血管を開通することができる。下肢動脈の高度狭窄病変に対してエキシマレーザーを用いた血管形成術を実施している。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまではリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			



医療技術名	術後化学療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法とビンoreルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験			
医療技術名	アレイ比較ゲノムハイブリダイゼーション法	取扱患者数	138人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 低酸素血症に対し、人工呼吸吸気に少量の一酸化窒素を付加して酸素化を改善する			
医療技術名	体外式補助人工心臓(VAD)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 心不全に対する心移植までのブリッジング治療			
医療技術名	Bone bridge	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 中耳手術後や中耳・外耳奇形による伝音難聴患者に対し、側頭骨に埋め込み型の骨伝導インプラントを入れ、補聴を行う			
医療技術名	Vibrant Soundbridge 人工中耳システム	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 従来の補聴器を様々な医学的理由で使用できない患者に対し、特徴的な中耳インプラントを埋め込み補聴を行う			
医療技術名	Electro Acoustic Stimulation	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 低音部の残存聴力を活用可能な新しいコンセプトの人工内耳(残存聴力活用型人工内耳)			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	73人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	58人	・広範脊柱管狭窄症	11人
・重症筋無力症	88人	・原発性胆汁性肝硬変	57人
・全身性エリテマトーデス	226人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	63人
・再生不良性貧血	46人	・混合性結合組織病	43人
・サルコイドーシス	91人	・原発性免疫不全症候群	15人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	36人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	146人	・網膜色素変性症	20人
・特発性血小板減少性紫斑病	22人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	44人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	111人	・神経線維腫症	22人
・大動脈炎症候群	22人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	17人	・慢性血栓性肺高血圧症	8人
・脊髄小脳変性症	93人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	79人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・脊髄性筋萎縮症	5人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	117人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	130人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	26人
・後縦靭帯骨化症	44人	・肥大型心筋症	13人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	19人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	6人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	37人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	19人	・黄色靭帯骨化症	9人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	113人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・地域歯科診療支援病院入院加算
・歯科外来診療環境体制加算	・救命救急入院料
・歯科診療特別対応連携加算	・特定集中治療室管理料
・特定機能病院入院基本料	・ハイケアユニット入院医療管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・救急医療管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・超急性期脳卒中加算	・小児入院医療管理料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・データ提出加算	・

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・糖尿病合併症管理料	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・外来緩和ケア管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後患者指導管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・糖尿病透析予防指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・院内トリアージ実施料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・外来放射線照射診療料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ニコチン依存症管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・地域連携診療計画管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・がん治療連携管理料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・薬剤管理指導料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料2	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療機器安全管理料(歯科)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・造血器腫瘍遺伝子検査	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・HPV核酸検出	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(I)	・補助人工心臓
・検体検査管理加算(IV)	・経皮的大動脈遮断術
・遺伝カウンセリング加算	・ダメージコントロール手術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・体外衝撃波胆石破砕術

・植込型心電図検査	・腹腔鏡下肝切除術
・時間内歩行試験	・生体部分肝移植術
・胎児心エコー法	・同種死体肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・体外衝撃波膵石破砕術
・人工膵臓	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・皮下連続式グルコース測定	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・神経学的検査	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・補聴器適合検査	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・コンタクトレンズ検査料1	・同種死体腎移植術
・小児食物アレルギー負荷検査	・生体腎移植術
・内服・点滴誘発試験	・膀胱水圧拡張術
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算2	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・CT撮影及びMRI撮影	・輸血管理料Ⅱ
・冠動脈CT撮影加算	・自己生体組織接着剤作成術
・外傷全身CT加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・大腸CT撮影加算	・内視鏡手術用支援機器加算
・心臓MRI撮影加算	・歯周組織再生誘導手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・外来化学療法加算1	・麻酔管理料(Ⅰ)
・無菌製剤処理料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・放射線治療専任加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・外来放射線治療加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・高エネルギー放射線治療
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・がん患者リハビリテーション料	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・精神科作業療法	・定位放射線治療
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・保険医療機関間の連携による病理診断

・医療保護入院等診療料	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・病理診断管理加算
・一酸化窒素吸入療法	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科技工加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腫瘍の微小環境におけるASCを介した自然炎症の役割	肥田 重明	大学院医学系研究科 分子腫瘍学講座	3,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
GluRδ2-Cbln1-NRXN複合体によるシナプス形成機構の構造基盤の解明	植村 健	医学部 分子細胞生理学	1,800,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
臨床的応用に視点を置いたリンパ行性微小癌転移機構解明の体系的研究	大橋 俊夫	医学部 器官制御生理学	8,800,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
マイクロサージェリー支援マニピュレータの開発	本郷 一博	医学部 脳神経外科学	10,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
再生医療に多面的治療手段を提供する多能性幹細胞プロファイリングの開発研究	佐々木 克典	医学部 組織発生学	8,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
加齢による体温調節能劣化機構の解明とその熱中症予防への応用	能勢 博	大学院医学系研究科 スポーツ医科学講座	8,300,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
CNTを応用した高機能生体材料創製のためのCNT・生体界面技術の構築と安全性評価	齋藤 直人	医学部保健学科 応用理学療法学	8,300,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
広角映像を用いた自動車運転認知行動評価の研究	小林 正義	医学部保健学科 基礎作業療法学	200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
アミロイドーシス発症機構の実験病理学的解明と予防・治療法の開発	樋口 京一	大学院医学系研究科 加齢生物学講座	4,300,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
難治性がん疼痛の脳での認知・制御機構の解明とそれに基づく新たな治療法の開発	川股 知之	医学部 麻酔蘇生学	2,900,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
網膜浮腫をおこすノックアウトマウスを用いた糖尿病黄斑浮腫の新しい治療法の開発	村田 敏規	医学部 眼科学	2,900,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
粘多糖鎖による胃癌発生の制御	中山 淳	大学院医学系研究科 分子病理学講座	6,400,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
白血病性幹細胞に対するキメラ抗原受容体を用いた遺伝子改変T細胞療法の開発	小池 健一	医学部 小児医学	3,900,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
急性痛は慢性痛化するか：遷延性術後痛のメカニズム	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	6,700,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
Neurexinの結合特異性を操作したマウスを用いた自閉症の分子経路の解明	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	5,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
小脳神経回路網形成の分子基盤の解明	植村 健	医学部 分子細胞生理学	3,900,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
環状ホスファチジン酸による抗動脈硬化作用を利用した治療創薬の基盤開発	塚原 完	医学部 分子細胞生理学	6,600,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
子宮内膜癌における新規癌遺伝子lipocalin2を標的とした治療法の開発	宮本 強	医学部附属病院 産科婦人科	5,900,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
サイクリンAを標的とした子宮内膜癌治療薬の開発：新規化合物の機能解析と改良	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	5,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
シナプス後肥厚部に発現するLRP4の高次神経機能への関与	棚橋 浩	大学院医学系研究科 神経可塑性学分野	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
APP細胞内ドメインによって誘導される神経細胞選択的細胞死の解析	中山 耕造	医学部 人体構造学	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
内分泌攪乱物質の次世代免疫・神経系への作用機序の解明と発育・健康リスク評価の検討	高本 雅哉	医学部 病理学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト高体温時の圧反射性皮膚血流調節における皮膚交感神経・心周期同期成分の役割	上條 義一郎	大学院医学系研究科 スポーツ医科学講座	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アドレノメデュリン-RAMP2・RAMP3システムの破綻が惹起する炎症病態の解明	桜井 敬之	大学院医学系研究科 循環病態学講座	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Inflammasome形成に関わるASCの多面的機能の解析	谷口 俊一郎	大学院医学系研究科 分子腫瘍学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胃粘膜の表現型を示す腺癌（胃型腺癌）とその前癌病変の臨床病理学的診断法の開発	太田 浩良	医学部保健学科 生体情報検査学	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
間質性肺炎疾患におけるリン脂質代謝異常の解析と質量分析による検査法の開発	日高 宏哉	医学部保健学科 生体情報検査学	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ビスフェノールAの健康影響評価のための疫学調査研究	津田 洋子	医学部 衛生学公衆衛生学	200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
法医DNA多型検査における3対立遺伝子性SNPsの有用性に関する検討	太田 正穂	医学部 法医学	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
劣化DNA試料分析の標準化に関する研究	浅村 英樹	医学部 法医学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
リシーケンシングによる自己免疫性肝疾患のHLAゲノム多様性解析	梅村 武司	医学部 内科学（2）	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
次世代血管再生療法開発のための基礎および臨床研究	池田 宇一	医学部 内科学（5）	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
薬剤性肺障害に関連する遺伝子多型の検討	久保 恵嗣	医学部 内科学（1）	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
トランスサイレチンアミロイドーシスの早期診断及び新規の非侵襲的治療の確立	関島 良樹	医学部 内科学第三	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
抗NMDAR脳炎における病的自己抗原提示細胞の検索研究	池田 修一	医学部 内科学（3）	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞質甲状腺ホルモン結合蛋白質の生理的機能多様性：炎症と低T3症候群への関与	鈴木 悟	医学部 内科学（4）	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
進行性神経芽腫に対するGD2特異的キメラ抗原受容体を用いた遺伝子改変T細胞療法	中沢 洋三	医学部 小児科学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
癌抑制遺伝子p53ファミリーとRunxファミリーによる表皮細胞の制御と発癌	奥山 隆平	医学部 皮膚科学	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規モノクローナル抗体を用いて分離した血液循環メラノマ細胞の遺伝子解析	芦田 敦子	医学部 皮膚科学	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
カタトニアを呈する老年期うつ病の臨床・生物学的研究	天野 直二	医学部 精神医学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ニューロメーターを用いた周術期の末梢神経障害の評価	池野 重雄	医学部 麻酔蘇生学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自家骨髄細胞・脂肪細胞による膀胱・尿道括約筋再生療法	石塚 修	医学部 泌尿器科学	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
冷えストレスによる下部尿路症状の解析と臨床応用の検討	西沢 理	医学部 泌尿器科学	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌におけるNotchシグナル関連因子の発現とその意義の研究	高津 亜希子	医学部附属病院 分娩部	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天CMV感染症による難聴の分子遺伝学的診断法に関する研究	岩崎 聡	医学部 人工聴覚器学講座	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
微小重力環境における内耳末梢前庭器の遺伝子発現解析	工 穰	医学部 耳鼻咽喉科学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
顔面表情筋の不随意的収縮メカニズムの赤外線サーモグラフィでの解析	松尾 清	医学部 形成再建外科学	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔粘膜癌におけるヨード生体染色機序およびグリコーゲン代謝異常の解明	栗田 浩	医学部 歯科口腔外科学	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
がん看護におけるアウトカムマネジメントに関する研究	上條 優子	医学部保健学科 看護学専攻 基礎看護学	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
精神科臨床における攻撃行動場面でのディ・エスカレーション技術に関する研究	下里 誠二	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
パーソナルゲルム時代の生命・医療倫理の深化と社会との接点	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
SAM系マウスを用いた潰瘍性大腸炎の原因遺伝子の同定	森 政之	大学院医学系研究科 加齢生物学分野	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
青少年の生活習慣病予防医療を目的とした地域連携型研究・教育拠点の構築	本郷 実	医学部保健学科 成人・老年看護学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脂質異常症の予防と治療のための短期軽度カロリー制限と運動処方分子メカニズム	澤下 仁子	大学院医学系研究科 加齢生物学分野	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
認知症を合併した脳卒中患者のADLおよびライフスタイルに関する予後調査	務臺 均	医学部保健学科 基礎作業療法学	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
形質細胞様キラー樹状細胞の製造技術に関する研究	下平 滋隆	医学部附属病院 輸血部	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
L型カルシウムチャネルの結合膜局在化におけるジャンクトフィリンの役割	中田 勉	医学部 分子薬理学	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
流れ刺激によるヒト肺細動脈内皮細胞からの炭酸ガス排出機構と呼吸生理学的意義の解明	河合 佳子	医学部 器官制御生理学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト大腸癌CaCo-2細胞をM細胞に分化させる遺伝子の発現クローニング	小林 基弘	大学院医学系研究科 分子病理学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
好塩基球のサイトカイン応答における正および負のシグナル伝達調節機構	瀧 伸介	医学部 免疫制御学	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
微小粒子状物質等大気汚染物質の健康影響(循環器、呼吸器疾患)に関する研究	野見山 哲生	医学部 衛生学公衆衛生学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児喘息患者におけるゲノムDNAメチル化異常の実態調査	堺 温哉	医学部 衛生学公衆衛生学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性心不全における東洋医学的アプローチの有用性に関する検討	伊澤 淳	医学部附属病院 循環器内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
mTOR関連細胞生存シグナルの制御による慢性閉塞性肺疾患発症およびその機序の解明	安尾 将法	医学部附属病院 呼吸器・感染症内科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄小脳失調症31型のRNA病因説に対するプロテオーム解析	吉田 邦広	医学部 神経難病学講座	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
下肢最遠位部および上肢最近位部での末梢神経障害における定量的神経機能評価法の確立	森田 洋	医学部附属病院 卒後臨床研修センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自然免疫系細胞によるプロテアーゼ認識機構の解明	肥田 重明	大学院医学系研究科 分子腫瘍学分野	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
移植後拒絶反応におけるASCの役割	瀬戸 達一郎	医学部附属病院 外科(2)	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
疾患モデルマウスを用いた狭窄性腱鞘炎の病態解析	林 正徳	医学部 運動機能学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
放射線照射による膀胱の損傷に対する骨髄由来細胞シートを用いた膀胱再生の試み	今村 哲也	医学部 下部尿路医学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
婦人科悪性腫瘍に対する新規治療法の開発:子宮平滑筋肉腫の生物学的応答性の解析	林 琢磨	医学部 免疫制御学	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
唾液腺腫瘍の分子遺伝学的診断に関する研究	海沼 和幸	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫網膜症患者血清が認識する網膜特異抗原の網羅的解析と発症機構に関する研究	菊池 孝信	と環境科学研究支援センター 機器分析部門	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
生命科学の進展に対応した規範創生のための学際的多分野融合	玉井 真理子	医学部保健学科 小児・母性看護学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
運動療法によって変動するエピジェネティック分子の網羅的解析と予防医学の意義	橋本 繁成	医学部 分子細胞生理学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト胎児肝細胞を用いた胎児毒性評価系の構築と分子毒性基盤	山折 大	医学部附属病院 薬剤部	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
シュワン細胞の膜骨格構造における蛋白複合体の解析	寺田 信生	医学部 基礎作業療法学	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
PPAR $\alpha$ 活性化による腎実質細胞保護を目的とした新たな慢性腎臓病治療法の開発	上條 祐司	医学部附属病院 内科(2)	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脂肪細胞におけるAM-RAMP2系の病態生理学的意義の解明と治療標的への展開	神吉 昭子	大学院医学系研究科 循環病態学講座	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エーラスダンロス症候群・新規病型の臨床的および分子遺伝学的探索	古庄 知己	医学部附属病院 遺伝子診療部	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
HS-dPCR法を用いた肺腺癌遺伝子異常の迅速解析	吉澤 明彦	医学部 病態解析診断学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性肺炎のDNAメチレーション異常についての検討	上原 剛	医学部 病態解析診断学	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
共刺激分子による抗腫瘍免疫反応の機能解析とがんワクチンへの応用	辛 太廣	医学部 免疫制御学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
血漿および関節液中のシトルリン化フィブリノゲンおよびその抗体定量法の確立	寺澤 文子	医学部保健学科 病因・病態検査学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
続発性不妊、分娩後の月経再来、次子妊娠希望の背景因子に関する研究	金井 誠	医学部保健学科 小児・母性看護学	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
HBe抗原陰性慢性肝炎の病態と発症予測	田中 榮司	医学部 内科学第二	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
タバコ抽出液によるラット肺気腫モデルにおける薬剤の抑制効果の検討	花岡 正幸	医学部 内科学第一	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
家族内発症頻発地域における筋萎縮性側索硬化症の網羅的遺伝子解析と臨床病理学的検討	日根野 晃代	医学部 内科学第三	1,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
FAPにおける低分子薬剤のアミロイド線維沈着抑制機序の解明と根治治療への応用	矢崎 正英	大学院医学系研究科 加齢生物学講座	1,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
KATP非依存性経路とインクレチン相互作用によるインスリン分泌機構の解明	駒津 光久	医学部 内科学第四	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
アレルギー疾患におけるサイトカイン受容体小胞輸送と受容体遺伝子多型	竹下敏一	医学部 免疫・微生物学	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
EGFR阻害剤による皮脂腺細胞の変化と治療薬探索モデルの構築に関する研究	宇原 久	医学部 皮膚科学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
環境化学物質レセプターAhRによる皮膚炎誘導のメカニズムの解析	小川 英作	医学部 皮膚科学	2,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Notchシグナルがメラノーマで果たす役割の解明と治療への応用	木庭 幸子	医学部附属病院 皮膚科	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
甲状腺未分化癌の分子標的開発に向けたEpCAMの機能解析	伊藤 研一	医学部 外科学第二	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝幹細胞を用いたインスリン産生細胞分化誘導による膵切除後内分泌機能不全治療戦略	小林 聡	医学部 外科学第一	2,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳細動脈の機能障害と攣縮に対するマグネシウムの拡張作用の解析	村田 貴弘	医学部附属病院 脳神経外科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
次世代脳動脈瘤クリップ開発への基礎研究 -クリップ閉塞された動脈瘤の変化-	堀内 哲吉	医学部 脳神経外科学	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カーボンナノチューブによる骨芽細胞の石灰化促進メカニズムの解明	羽二生 久夫	医学部 運動機能学	2,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
外尿道括約筋筋膜欠損モデルを用いた細胞シート移植による尿失禁治療の検討	加藤 晴朗	医学部附属病院 泌尿器科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
画像解析に基づいたメニエール病患者の新規診断法の確立と遺伝子解析	福岡 久邦	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
KCNQ4遺伝子変異による難聴のデータベース構築と発症機序に関する研究	西尾 信哉	医学部 耳鼻咽喉科学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
嗅覚器及び嗅球の神経細胞数のステレオロジーを用いた定量解析	川岸 久太郎	医学部 人体構造学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
がん患者のための受動的筋弛緩法プログラムの作成と評価に関する研究	近藤 由香	医学部 成人・老年看護学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
助産外来における評価指標としてのルーブリックの開発	渡邊 淳子	医学部 小児・母性看護学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
シナプスでの核タンパク質の局所翻訳・核への移行とシナプス可塑性	白井 良憲	大学院医学系研究科 神経可塑性学分野	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カーボンナノチューブと組換えアデノウイルスによる高効率遺伝子導入法の開発	武田 貞二	医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢に伴い変動するアミロイド凝集体の網羅的プロテオーム解析	樋口 京一	大学院医学系研究科 加齢生物学分野	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
正常と腫瘍性の子宮平滑筋幹細胞の単離と両者の比較解析：新規治療法の開発に向けて	佐野 健司	医学部附属病院 臨床検査部	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
病気の子どもが未来を拓くちからを獲得するプロセスに関する研究	鈴木 泰子	医学部保健学科 小児・母性看護学	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
消化器癌転移時のセンチネルリンパ節微小環境変化を可視化評価するための基礎研究	大橋 俊夫	医学部 器官制御生理学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
相同染色体上の遺伝子領域間三次元核内配置と遺伝子発現に関する研究	涌井 敬子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
骨組織再生のためのナノカーボンファイバースシートを用いた機能性足場材の開発	齋藤 直人	医学部保健学科 応用理学療法学	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
局所麻酔薬の新たな臨床応用 -痒みに対する画期的な治療法の開発-	川股 知之	医学部 麻酔蘇生学	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
局所麻酔薬は胎児・乳幼児の発達神経系にアポトーシスを起こすか？	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	1,400,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
子宮内膜癌細胞におけるC2GnT1機能の検討	鈴木 昭久	医学部附属病院 産科婦人科	1,400,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
婦人科悪性腫瘍におけるケラタン硫酸発現の検討	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	1,200,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
網膜梗塞部位におけるミュラー細胞を利用した網膜神経の再生研究	村田 敏規	医学部 眼科学	1,300,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
神経難病療養者のスピリチュアルケアを行うチームケアシステムに関する研究	柳澤 節子	医学部保健学科 看護学専攻 基礎看護学	500,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
変形性膝関節症に伴う足裏感覚の内外アンバランスが転倒に及ぼす影響の検討	中村幸男	医学部附属病院 整形外科	1,500,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
パーキンソン病モデルマウスへのマグネシウム-L-スレオネート投与の予防・治療効果	小柳 清光	医学部 神経難病学	1,800,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
炎症関連遺伝子修飾からみた運動と5-アミノレブリン酸の併用効果	能勢 博	医学系研究科 スポーツ医科学	1,800,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
胃癌発生におけるIL-33の役割 -新規モデルマウスを用いた解析-	中山 淳	医学系研究科 分子病理学講座	1,200,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
加齢による筋Caチャネルの異常が骨格筋力低下を生じる分子メカニズム	加藤 博之	医学部 運動機能学	1,100,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
無痛症患者の遺伝子学的解析による新規痛み関連分子の検索	杉山 由紀	医学部 麻酔蘇生学	1,400,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
胎盤におけるNeuregulin-1発現と胎児肺成熟促進作用に関する研究	菊地 範彦	医学部附属病院 産科婦人科	1,000,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
分葉状子宮頸管腺過形成 (LEGH) の自然史と腫瘍性性質の解析	宮本 強	医学部附属病院 産科婦人科	500,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
蝸牛の回転ごとに発現する遺伝子スプライシングバリエントの網羅的解析	吉村 豪兼	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,300,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
公衆衛生看護教育に有用で実践的な包括的ケースメソッドの開発と効果分析	奥野 ひろみ	医学部保健学科 広域看護学	900,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
バゾプレッシンV1a受容体遺伝子と運動習慣の定着率：その作用機序と環境因子の影響	増木 静江	大学院医学系研究科 スポーツ医科学講座	7,800,000	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
知覚神経系と免疫系のクロストーク -免疫細胞に発現する痛み関連分子の役割	杉山 由紀	医学部 麻酔蘇生学	6,900,000	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
レトロウイルスベクターの細胞特異的組み込み領域の解析	吉野 和寿	医学部 免疫・微生物学	900,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
フィブラート薬物によるPPAR $\alpha$ 非依存的な中性脂肪低下作用の総括的分子機構解明	中嶋 岳郎	大学院医学系研究科 代謝制御学講座	800,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒアルロン酸が動脈硬化進展に関与するメカニズムの解明	嘉嶋 勇一郎	医学部附属病院 循環器内科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
電気けいれん療法の効果に対する拡散強調画像研究	荻原 朋美	医学部 精神医学	716,799	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
機能イメージング技術を用いた局所肝予備能計測方法に関する研究	山田 哲	医学部附属病院 放射線科	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢神経圧排とTRPV2に注目した難治性骨がん疼痛の機序解明と新たな治療法の開発	山本 克己	医学部附属病院 麻酔蘇生学	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
「画像に基づく」メニエール病の診断、治療効果の評価に関する研究	宮川 麻衣子	医学部 耳鼻咽喉科学	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢黄斑変性におけるミュークリスタンの病態解析	今井 弘毅	医学部 眼科学	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
妊婦の不安が妊娠・分娩・産褥及び胎児・新生児の発達に及ぼす影響	近藤 里栄	医学部保健学科 小児・母性看護学	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
心不全の心室筋でT管のL型カルシウムチャネルの基礎活性が低下する分子機構の解析	柏原 俊英	医学部 分子薬理学	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規3次元培養システムを用いたiPS細胞による心筋再生療法の開発	柴 祐司	医学部 内科学(5)	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
トランスボゾンを用いた慢性肉芽腫症に対する新たな遺伝子治療の開発	重村 倫成	医学部 小児医学	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Ph陽性急性リンパ性白血病に対するCD19抗原特異的遺伝子改変T細胞療法の開発	齋藤 章治	医学部附属病院 輸血部(小児科)	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脳内ステロイドメタボロミクスを用いた新規抗うつ薬の開発	杉山 暢宏	医学部附属病院 精神科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アダプタータンパク質ASC下流シグナルを標的とした新規大腸がん治療標的分子の同定	藤井 千文	大学院医学系研究科 分子腫瘍学講座	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
安全で効果的な術中運動誘発電位刺激電極および刺激方法の開発	兒玉 邦彦	医学部附属病院 脳神経外科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
腱細胞培養系の樹立と腱細胞分化における新規マイクロRNAの同定	伊坪 敏郎	医学部附属病院 リハビリテーション部	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨髄は痛みを感じるか	石田 高志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌発癌進展過程におけるSIRT1発現と機能の解析	浅香 亮一	医学部附属病院 分娩部(産婦人科)	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難聴原因遺伝子変異が前庭機能に及ぼす影響に関する研究	塚田 景大	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
植込み型除細動器(ICD)移植後患者に関する探索的研究 — ICDとともに生きる—	中西 啓介	医学部保健学科 看護学専攻 基礎看護学	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

計 19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心臓血管外科領域における術後せん妄発症予測スケールの開発	寺内 英真	医学部保健学科 成人・老年看護学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非正規雇用者のメンタルヘルス支援モデルの開発	五十嵐 久人	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小児難病入院患者の病室外との映像コミュニケーションによる精神的支援と家族の支援	吉川 健太郎	医学部附属病院 小児科	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
パーキンソン病における発症の切っ掛けと増悪：リンパ組織の役割に関する検証	鈴木 絵美 (香山絵美)	医学部 #REF!	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
サイトカイン受容体のユビキチン非依存性小胞輸送	天野 勇治	医学部 免疫・微生物学	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
若年性骨髄単球性白血病患者のiPS細胞を用いた疾患特異的マーカーと治療薬の同定	松田 和之	医学部附属病院 臨床検査部	2,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
不整脈抑制効果を目指したヒトiPS細胞由来心筋細胞シート移植療法の確立	市川 比奈子	医学部附属病院 循環器内科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子異常による若年性認知症の病態解明	福島 和広	医学部附属病院 難病診療センター	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Patient-specific iPS cell-derived vessel smooth muscle cells of DD-EDS syndrome	岳 鳳鳴	医学部 組織発生学	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマ患者末梢血中の血中循環腫瘍細胞の定量と遺伝子変異の解析	上條 史尚	医学部附属病院 皮膚科	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子どものうつ症状と自閉症スペクトラム特性におけるサイトカインの役割	篠山 大明	医学部 精神医学	1,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
術後痛に対する下行性痛み抑制系の関与	杉山 大介	医学部 麻酔蘇生学	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性疼痛患者における運動イメージ訓練による治療法の確立	坂本 明之	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ホスホリパーゼに注目した神経障害性疼痛の機序解明と新たな治療法の開発	井出 進	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
絨毛外トロフォブラストにおけるLCN2の発現と意義の検討	小原 久典	医学部 産科婦人科学	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜症由来の卵巣癌発癌進展過程におけるlipocalin2の発現と機能の解析	山田 靖	医学部附属病院 産科婦人科	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内耳におけるグルタミントランスポータの解明と遺伝性難聴に関する研究	小口 智啓	医学部 耳鼻咽喉科学	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
突発性難聴と酸化ストレスの関係に関する検討	鬼頭 良輔	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
OTOF遺伝子変異による難聴のデータベース構築とOAE消失メカニズムの解析	鈴木 宏明	医学部 耳鼻咽喉科学	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
近赤外線を用いた吻合血管の収縮予防に関する研究	安永 能周	医学部 形成外科学	2,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
在宅重症心身障害児と母親および父親の睡眠の実態と育児ストレスに関する研究	芳賀 亜紀子	医学部 小児・母性看護学	1,900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
超広視野ナノレベル構造観測による乳癌幹細胞in situ同定法の開発	山本 陽一郎	医学部 病理組織学	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
DREADDシステムを用いたシナプス成熟技術の開発	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
カルボニルストレス関連分子をバイオマーカーとした統合失調症の病態解明	宮下 光弘	医学部附属病院 精神科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
多発性内分泌腫瘍症診療の標準化と患者支援、新たな治療開発に関する研究	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	1,800,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
次世代シーケンサーを駆使した希少遺伝性難病の原因解明と治療法開発の研究	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	5,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
遺伝性難治疾患の網羅的エクソーム解析拠点の構築	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	3,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
B型肝炎の核酸アナログ薬治療におけるdrug freeを目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	田中 榮司	医学部 内科学2	30,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
高度医療 残存聴力活用型人工内耳挿入術の適応症および有効性、安全性に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	44,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
カーボンナノチューブとPEEK材を複合する技術を活用した脊椎手術のための高機能インプラントの開発	齋藤 直人	医学部保健学科 応用理学療法学	30,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
デルマタン4-0-硫酸基転移酵素-1欠損に基づくエーラスダグロス症候群の病態解明と治療法の開発	古庄 知己	附属病院 遺伝子診療部	5,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
リンパ脈管筋腫症に対するシロリムスの安全性確立のための医師主導治験	久保 恵嗣	附属病院 内科学1	1,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
アミロイドーシスに関する調査研究	池田 修一	医学部 内科学3	1,600,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	池田 修一	医学部 内科学3	1,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
シトリン欠損症患者における臨床像の多様性の解明と致死性脳症の発症予防法の開発	池田 修一	医学部 内科学3	4,500,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	池田 修一	医学部 内科学3	800,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	池田 修一	医学部 内科学3	600,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究	池田 修一	医学部 内科学3	13,300,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝性脳小血管病およびその類縁疾患の診断基準の確立と治療法の研究	吉田 邦広	医学部 内科学3	1,200,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	吉田 邦広	医学部 内科学3	1,500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
アミロイドーシスに関する調査研究	樋口 京一	医学系研究科 加齢生物学	1,600,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
自己炎症疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立	上松 一永	医学系研究科 病理学(感染防御学)	1,500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
疾病中心から患者中心の希少難治性疾患研究を可能とする患者支援団体と専門家集団とのネットワーク構築	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	5,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
がんの診療科データベースと Japanese National Cancer Database (JNCDB) の構築と運用	佐々木 茂	医学部 包括的がん治療学講座	100,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
遺伝性難聴および外耳、中耳、内耳奇形に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	50,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
新しい難聴遺伝子診断システムの開発および臨床応用に関する研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	8,250,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
急性高度難聴に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	700,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	350,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
新しい人工内耳 (EAS) に関する基礎的、臨床的研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	5,700,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
先天性サイトメガロウイルス感染症による難聴のマス・スクリーニングおよび治療法に関する研究	岩崎 聡	医学部 人工聴覚器学	9,949,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
薬剤性肺障害に関する包括的研究	久保 恵嗣	医学部 内科学1	2,240,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
呼吸不全に関する調査研究	久保 恵嗣	医学部 内科学1	810,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
I g G4関連疾患に関する調査研究	久保 恵嗣	医学部 内科学1	1,300,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
B型肝炎ウイルスe抗体陽性無症候性キャリアの長期予後に関する検討	田中 榮司	医学部 内科学2	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
人工キメラ遺伝子と肝臓特異的な輸送担体の開発を基盤とした肝臓内HBVDNA不活化を目指した新規治療法の開発	田中 榮司	医学部 内科学2	5,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
肝硬変に対する細胞治療法の臨床的 確立とそのメカニズムの解明	梅村 武司	医学部 内科学2	2,500,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
がん化学療法及び免疫抑制療法中のB型肝炎ウイルス再活性化予防対策法の確立を目指したウイルス要因と宿主要因の包括的研究	梅村 武司	医学部 内科学2	2,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新しく開発された超高感度内視鏡（従来の強力光源が不要）の脳神経外科領域への臨床応用とその実用化に向けた医師主導治験の実施	本郷 一博	医学部 脳神経外科学	60,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
災害及び災害に備えた慢性閉塞性肺疾患等の生活習慣病患者の災害脆弱性に関する研究	藤本 圭作	医学部保健学科 生体情報検査学	480,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	高 昌星	医学部保健学科 保健学科 生体情報検査学	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主因子等について、網羅的な遺伝子解析を用い、新規診断法及び治療法の開発を行う研究	松本 晶博	附属病院 肝疾患診療相談センター	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
科学的根拠に基づくウイルス性肝疾患診療ガイドラインの構築に関する研究	松本 晶博	附属病院 肝疾患診療相談センター	2,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
先天性異常の疾患群の診療指針と治療法開発をめざした情報・検体共有のフレームワークの確立	古庄 知己	附属病院 遺伝子診療部	1,200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
カムラチー・エンゲルマン病の治療法の確立：新規遺伝子検索、モデル構築、分子標的治療薬の探索	古庄 知己	附属病院 遺伝子診療部	1,800,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
特異性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	佐野 健司	附属病院 臨床検査部	500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
治験の実施に関する研究〔サリドマイド〕	池田 修一	医学部 内科学3	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
三重県南部に多発する家族性認知症（パーキンソン症候群発症因子）の探索と治療介入研究	小柳 清光	医学部 神経難病学	300,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
遺伝学的検査の実施拠点の在り方に関する研究	福島 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
エクソソームを介したHBV感染及び発がんメカニズム解析と治療戦略	梅村 武司	医学部 内科学2	5,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
国際共同治験に基づく小児希少難病に対する遺伝子・細胞治療の実施とその支援体制の整備	大森 栄	附属病院 薬剤部	1,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
高度医療 残存聴力活用型人工内耳挿入術の適応症および有効性、安全性に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	32,590,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
戦略的創造研究推進事業CREST（チーム型研究）ライフサイエンスの革新を目指した構造生命科学と先端基盤技術「シナプス形成を誘導するタンパク質複合体の機能解析および構造解析に立脚したシナプス形成制御法の開発」（複数年度契約）	植村 健	医学部 分子細胞生理学	44,175,000	補 委	科学技術振興機構 受託研究費
新規蛍光プローブを用いたがん分子標的としてのNox1阻害剤の探索（複数年度契約）A-Step（探索タイプ）	鎌田 徹	医学部 分子細胞生化学	1,000,000	補 委	科学技術振興機構 受託研究費
戦略的創造研究推進事業さきがけ（個人研究型）精神発達障害原因解明のためのNeuroigin/Neurexinモデルの確立	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	29,000,000	補 委	科学技術振興機構 受託研究費
研究成果展開事業研究成果最適展開支援プログラム本格研究開発ステージハイリスク挑戦タイプ（組み換えピフィズ菌を用いる疾患部位選択的な新規虚血性疾患治療薬の開発研究）	和田 有子	医学部 外科学第二	12,844,000	補 委	科学技術振興機構 受託研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
平成25年度産業技術研究開発 ナノ材料の安全・安心確保のための 国際先導的安全性評価技術の開発 (低炭素社会を実現する超軽量・高 強度革新的融合材料プロジェクト (NEDO交付金以外分)	齋藤 直人	医学部保健学科 応用理学療法学	12,000,000	補 委 経済産業省 受託研究費
平成25年度精神・神経疾患研究開発 費による研究事業 ・難治性ニューロパチーの診断技術 と治療法に関する研究	池田修一	医学部 内科学(3)	1,500,000	補 委 国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
平成25年度精神・神経疾患研究開発 費による研究事業 ・精神・神経疾患等のバイオリソ ス・レポジトリーの診療及び研究に おける有効活用に関する研究	涌井敬子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,500,000	補 委 国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
新しい革新的な診断法のための 研究 画像診断に対する多施設共同臨床試 験の体制確立に関する研究	角谷 眞澄	医学部 画像医学	1,000,000	補 委 科学技術振興機構 受託研究費
在宅障がい者(児)宅の安心療養環 境を創出する病-宅連携型高度IC T総合ケアシステム (戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE))	中村 昭則	附属病院 難病診療センター	8,173,000	補 委 総務省信越総合通信局 受託研究費
H25年度課題解決型医療機器等開発 事業(界面制御CNTコンポジット材 料を用いた高機能人工関節の安全性 の開発) (②臨床試験準備 1) 薬事相談の 実施(医療機器安全性確認相談 等)、2) 新規素材の生物学的安全 性試験のプロトコルの検討)	齋藤 直人	医学部保健学科 応用理学療法学	2,857,689	補 委 長野県テクノ財団 受託研究費
循環器患に関わる生理活性ペプチド の探索・機能解析とそれに基づくト ランスレーショナルリサーチ	新藤 隆行	大学院医学系研究科 循環病態学	1,500,000	補 委 科学技術振興機構 受託研究費
NADPH oxidase 1 (Nox1) 選択的 阻害薬NOS31の非臨床研究開発 研究成果展開事業 研究成果最適展 開支援プログラムA-Step(シーズ頭 在化タイプ)(複数年度契約)	鎌田 徹	医学部 分子細胞生化学	1,545,000	補 委 科学技術振興機構 受託研究費
アルツハイマー病における新規創薬 ターゲット検索のための、AFP細 胞内ドメインの神経毒性の解析A- Step(探索タイプ)	中山 耕造	医学部 人体構造学	1,310,000	補 委 科学技術振興機構 受託研究費
受容体活性調節タンパクRAMPを標的 とした創薬A-Step(探索タイプ)	桜井 敬之	大学院医学系研究科 循環病態学	1,310,000	補 委 科学技術振興機構 受託研究費
平成25年度子どもの健康と環境に 関する全国調査甲信ユニットセン ター委託業務	野見山 哲生	医学部 衛生学公衆衛生学	34,523,000	補 委 国立大学法人山梨大学 受託研究費

計 11

合計 238

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Tateishi K	呼吸器・感染症内科	Primary Malignant Sarcomatoid Mesothelioma in the Pericardium.	Intern Med. 52 :249-251,2013.
2	Yasuo M	呼吸器・感染症内科	Fenretinide Causes Emphysema, Which Is Prevented by Sphingosine 1-Phosphate.	PLOS ONE. Vol.8 e53927 :1-10, 2013.
3	Ushiki A	呼吸器・感染症内科	Comparison of Distance of 6-min Walk Test and the Incremental Shuttle Walk Test with Lung Function or Quality of Life in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Shinshu Med J. 61(2) :57-64, 2013.
4	Kitaguchi Y	呼吸器・感染症内科	Additive efficacy of short-acting bronchodilators on dynamic hyperinflation and exercise tolerance in stable COPD patients treated with long-acting bronchodilators.	Respiratory Medicine. 107 :394-400, 2013.
5	Kitaguchi Y	呼吸器・感染症内科	Annual changes in pulmonary function in combined pulmonary fibrosis and emphysema: Over a 5-year follow-up.	Respiratory Medicine. 107:1986-1992,2013.
6	Kobayashi N	呼吸器・感染症内科	Polymorphisms of the Tissue Inhibitor of Metalloproteinase 3 Gene Are Associated with Resistance to High-Altitude Pulmonary Edema (HAPE) in a Japanese Population: A Case Control Study Using Polymorphic Microsatellite Markers.	PLOS ONE. Vol.8 :e71993 : 1-7,2013.
7	Miura T	内科学第五(循環器内科学)	Prevalence and clinical outcome of polyvascular atherosclerotic disease in patients undergoing coronary intervention	Circ J 77(1):89-95,2013
8	Shiba Y	内科学第五(循環器内科学)	Prostacyclin : a potential new target for endothelial progenitor cell-mediated angiogenesis	Circ J 77(4):906-907,2013
9	Yamasaki S	内科学第五(循環器内科学)	Presence of diastolic dysfunction in patients with peripheral artery disease	Angiology 64(7):540-543,2013
10	Miura T	内科学第五(循環器内科学)	Iatrogenic peroneal artery pseudoaneurysm treated by transluminal coil embolization	Cardiovasc Interv Ther 28(1):128-130,2013
11	Hioki H	内科学第五(循環器内科学)	Critical in-stent restenosis following fracture of biolimus-eluting stent: a report of 2 cases	J Invasive Cardiol 25(1):E11-E13,2013
12	Tomita T	内科学第五(循環器内科学)	High concentrations of omega-3 fatty acids are associated with the development of atrial fibrillation in the Japanese population	Heart Vessels 28(4):497-504,2013
13	Kashima Y	内科学第五(循環器内科学)	Crucial role of hyaluronan in neointimal formation after vascular injury	PLoS One 8(3):e58760,2013
14	Ebisawa S	内科学第五(循環器内科学)	Successful prevention of no-reflow phenomenon in a high-risk patient using excimer laser coronary atherectomy	Cardiovasc Interv Ther 28(4):422-425,2013
15	Motoki H	内科学第五(循環器内科学)	Changes in left atrial mechanics following pericardiectomy for pericardial constriction	J Am Soc Echocardiogr 26(6):640-648,2013
16	Koyama J	内科学第五(循環器内科学)	Peak systolic velocity of pulmonary venous flow and mitral annulus are independent predictors of left ventricular global longitudinal strain in patients with cardiomyopathy	Int J Cardiol 168(6):5462-5464,2013
17	Motoki H	内科学第五(循環器内科学)	Impact of left ventricular diastolic function on left atrial mechanics in systolic heart failure	Am J Cardiol 112(6):821-826,2013
18	Maruyama, Masahiro	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Type 1 autoimmune pancreatitis can transform into chronic pancreatitis: a long-term follow-up study of 73 Japanese patients	Int J Rheumatol;2013;2725 95;2013
19	Maruyama, Masahiro	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	International Consensus Diagnostic Criteria for Autoimmune Pancreatitis and Its Japanese Amendment Have Improved Diagnostic Ability over Existing Criteria	Gastroenterol Res Pract;2013;456965;2013

20	Muraki, Takashi	Department of Medicine, Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Carbon dioxide insufflation during endoscopic retrograde cholangiopancreatography by non-expert endoscopists can be safer than air insufflation	Dig Endosc;25;5;551-552;2013
21	Nozawa, Yuichi	Division of Hepatology and Gastroenterology, Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	KIR, HLA, and IL28B Variant Predict Response to Antiviral Therapy in Genotype 1 Chronic Hepatitis C Patients in Japan	PLoS One;8;12:e83381;2013
22	Watanabe, Takayuki	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Two siblings with type 1 autoimmune pancreatitis	Intern Med;52;8;895-899;2013
23	Morita, Susumu	Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	Characteristics and prediction of hepatitis B e-antigen negative hepatitis following seroconversion in patients with chronic	Hepatol Res;2013
24	Okuhara, Sadahisa	Department of Medicine, Division of Hepatology and Gastroenterology	Serum levels of interleukin-22 and hepatitis B core-related antigen are associated with treatment response to entecavir therapy in chronic hepatitis B	Hepatol Res;2013
25	Harada, Makoto	Department of Nephrology, Shinshu University School of Medicine	A case of podocytic infolding glomerulopathy with multiple myeloma	BMC Nephrol;15;1;32;2014
26	Joshita, Satoru	Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	STAT4 gene polymorphisms are associated with susceptibility and ANA status in primary biliary cirrhosis	Dis Markers;2014;727393;2014
27	Nozawa, Y	Department of Medicine, Division of Hepatology and Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Genetic polymorphism in IFNL4 and response to pegylated interferon-alpha and ribavirin in Japanese chronic hepatitis C patients	Tissue Antigens;83;1;45-48;2014
28	Suga, Tomoaki	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Loop-forming method: new method for endoscopic insertion tube shaft rotation	Dig Endosc;26;1;122-123;2014
29	Tanaka, Eiji	Department of Medicine, Shinshu University School of Medicine	Guidelines for avoiding risks resulting from discontinuation of nucleoside/nucleotide analogs in patients with chronic hepatitis B	Hepatol Res;44;1;1-8;2014
30	Watanabe, Takayuki	Department of Gastroenterology, Shinshu University School of Medicine	Mecharisms of lower bile duct stricture in autoimmune pancreatitis	Pancreas;43;2;255-260;2014
31	Aoki Y, Nagata T, Yokota T, Nakamura A, Matthew J.A. Wood, Terence Partridge, Takeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Highly efficient in vivo delivery of PMO into regenerating myotubes and rescue in laminin- $\alpha$ 2 chain-null congenital muscular dystrophy mice	Hum Mol Genet. 2013 Dec 15;22(24):4914-28.
32	Berk JL, Suhr OB, Obici L, Sekijima Y, Zeldenrust SR, Yamashita T, Heneghan MA, Gorevic PD, Litchy	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Repurposing diflunisal for familial amyloid polyneuropathy: a randomized clinical trial	JAMA. 2013 Dec 25;310(24):2658-67
33	Dziewulska D, Doi H, Fasano A, Erro R, Fatehi F, Fekete R, Gatto EM, Pablos EG, Lehn A, Miyajima H, Piperno	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Olfactory impairment and pathology in neurodegenerative disorders with brain iron accumulation	Acta Neuropathol. 2013 Jul;126(1):151-3.
34	Ihse E, Rapezzi C, Benson MD, Ando Y, Suhr OB, Ikeda S, Lavatelli F, Obici L, Quarta CC, Leone O, Jono H, Ueda M,	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Amyloido fibrils containing fragmented ATTR may be the standard fibril comosition in ATTR amyloidosis	Amyloid. 2013 Sep;20(3):142-50.
35	Ishii W, Liepnieks JJ, Yamada T, Benson MD, Kluge-Beckerman B	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Human SAA1-derived amyloid deposition in cell culture: a consistent model utilizing human peripheral blood mononuclear cells and serum-free medium	Amyloid. 2013 Jun;20(2):61-71.
36	Kametani F, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Proteomic analysis of leptomenigeal amyloid fibril extracts of cerebral amyloid angiopathy (CAA) patients with or without corticosteroid therapy	Amyloid. 2013 Dec;20(4):277-8.
37	Kimura T, Ishizawa K, Mitsufuji T, Abe T, Nakazato Y, Yoshida K, Sasaki A, Araki N	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	A clinicopathological and genetic study of sporadic diffuse leukoencephalopathy with spheroids: a report of two cases	Neuropathol Appl Neurobiol. 2013 Dec;39(7):837-43.

38	Kodaira M, Tsuruhara A, Motomura E, Tani H, Inui K, Kakigi R	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Effects of acute nicotine on prepulse inhibition of auditory change-related cortical responses	Behav Brain Res. 2013 Nov 1;256:27-35.
39	Kodaira M, Wasaka T, Motomura E, Tani H, Inui K, Kakigi R	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Effects of acute nicotine on somatosensory change-related cortical responses	Neuroscience. 2013 Jan 15;229:20-6.
40	Kodaira M, Yamamoto K	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Rituximab improves subclinical temporal dispersion of distal compound muscle action potential in anti-MAG/SGPG neuropathy associated with waldenström macroglobulinemia: a case report	Case Rep Neurol. 2013 Jan;5(1):34-9.
41	Kondo Y, Kinoshita M, Fukushima K, Yoshida K, Ikeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Early involvement of the corpus callosum in a patient with hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids carrying the de novo K793T mutation of CSF1R	Intern Med. 2013;52(4):503-6.
42	Morita H, Ito K, Miyazaki D, Fukushima K, Iwaya M, Hongo K, Ikeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Giant cauda equina schwannoma	Neurol Clin Neurosci 2013;1(1):42-43
43	Nakagawa M, Sekijima Y, Tojo K, Ikeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	High prevalence of ATTR amyloidosis in endomyocardial biopsy-proven cardiac amyloidosis patients	Amyloid. 2013 Jun;20(2):138-40.
44	Nakamura A	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Molecular mechanism and development of antisense therapy for duchenne muscular dystrophy	J Neurol Disord Stroke 1(3): 1021, 2013
45	Nakamura A, Kobayashi M, Kuraoka M, Yuasa K, Yugeta N, Okada T, Takeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Initial pulmonary respiration causes massive diaphragm damage and hyper-CKemia in duchenne muscular dystrophy dog	Sci Rep. 2013;3:2183.
46	Narumi Y, Fueki N, Hayashi Y, Shiba N, Nishino I, Inaba Y, Kosho T, Fukushima Y, Nakamura A	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Availability of DMD mRNA transcripts analysis in a patients with dystrophinopathy having a nonsense mutation	J Neurol Transl Neurosci 1: 1005, 2013
47	Ogawa Y, Nakagawa M, Ikeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Prostate amyloid tumor is a clue leading to the diagnosis of systemic AL amyloidosis.	Amyloid. 2013 Sep;20(3):193-4.
48	Ogawa Y, Nakagawa M, Ishii W, Ikeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Lip biopsy in Mikulicz's disease phenotype IgG4-related disease	Intern Med. 2013;52(9):1007-8.
49	Poshusta TL, Katoh N, Gertz MA, Dispenzieri A, Ramirez-Alvarado M	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Thermal stability threshold for amyloid formation in light chain amyloidosis	Int J Mol Sci. 2013 Nov 15;14(11):22604-17.
50	Saitoh B, Yamasaki R, Hayashi S, Yoshimura S, Tateishi T, Ohyagi Y, Murai H, Iwaki T, Yoshida K, Kira J	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	A case of hereditary diffuse leukoencephalopathy with axonal spheroids caused by a de novo mutation in CSF1R masquerading as primary progressive multiple sclerosis.	Mult Scler. 2013 Sep;19(10):1367-70.
51	Saitoh B, Yoshida K, Hayashi S, Yamasaki R, Sato S, Kamada T, Suzuki SO, Murai H, Iwaki T, Ikeda S, Kira J	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Sporadic hereditary diffuse leukoencephalopathy with axonal spheroids showing numerous lesions with restricted diffusivity caused by a novel splice site mutation in the CSF1R gene	Clin Exp Neuroimmunol 4: 76-81, 2013.
52	Sekijima Y, Nakamura K, Kishida D, Narita A, Adachi K, Ohno K, Nanba E, Ikeda S	脳神経内科、リマチ・膠原病内科	Clinical and serial MRI findings of a sialidosis type I patient with a novel missense mutation in the NEU1 gene	Intern Med. 2013;52(1):119-24.

53	Tachibana N, Kinoshita M, Saito Y, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Identification of the N-Methyl-D-Aspartate receptor (NMDAR)-related epitope, NR2B, in the normal human ovary: Implication for the pathogenesis of anti-NMDAR encephalitis	Tohoku J Exp Med. 2013;230(1):13-6.
54	Takanashi T, Matsuda M, Yazaki M, Yamazaki H, Nawata M, Katagiri Y, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Synovial deposition of wild-type transthyretin-derived amyloid in knee joint osteoarthritis patients.	Amyloid. 2013 Sep;20(3):151-5.
55	Takei Y, Oguchi K, Koshihara H, Hineno A, Nakamura A, Ohara S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	$\alpha$ -Synuclein coaggregation in familial amyotrophic lateral sclerosis with SOD1 gene mutation	Hum Pathol. 2013 Jun;44(6):1171-6.
56	Tazawa K, Yazaki M, Fukushima K, Ogata S, Makuuchi M, Morita K, Hiraishi H, Iwasaki Y, Kita J, Kubota K, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Patient with adult-onset type II citrullinemia beginning 2 years after operation for duodenal malignant somatostatinoma: Indication for liver transplantation.	Hepatol Res. 2013 May;43(5):563-8.
57	Tsuchiya-Suzuki A, Yazaki M, Sekijima Y, Kametani F, Ikeda S	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Steady turnover of amyloid fibril proteins in gastric mucosa after liver transplantation in familial amyloid polyneuropathy	Amyloid. 2013 Sep;20(3):156-63.
58	Yamamoto K, Omodaka T, Watanabe R, Kodaira M.	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	A hemorrhagic pineal cyst with a bacterial meningitis-like manifestation and benign outcome	Intern Med. 2013;52(24):2817-20.
59	Yamanaka S, Miyazaki Y, Kasai K, Ikeda S, Kiuru-Enari S, Hosoya T	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	Hereditary renal amyloidosis caused by a heterozygous G654A gelsolin mutation : a report of two cases	Clin Kidney J (2013) 6 (2): 189-193
60	Yazaki M, Kinoshita M, Ogawa S, Fujimi S, Matsushima A, Hineno A, Tazawa KI, Fukushima K, Kimura R, Yanagida M,	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	A 73-year-old patient with adult-onset type II citrullinemia successfully treated by sodium pyruvate and arginine	Clin Neurol Neurosurg. 2013 Aug;115(8):1542-5.
61	Ishii H	糖尿病・内分泌代謝内科、乳腺内分泌外科	A case of severe and recurrent painless thyroiditis requiring thyroidectomy	Med Princ Pract 2013; 22: 408-410
62	Takei M	糖尿病・内分泌代謝内科	A new experimental model of ATP - sensitive K + channel - independent insulinotropic action of glucose: a permissive role of cAMP for triggering of insulin release from rat pancreatic $\beta$ - cells	Endocr J 2013; 60: 599-607
63	Komatsu M	糖尿病・内分泌代謝内科	Glucose- stimulated insulin secretion : A newer perspective	J Diabetes Investing 2013; 4: 511-516
64	Suzuki S	糖尿病・内分泌代謝内科	Possible Roles of the AP-1 Site in the Cytosolic T3 Binding Protein Promoter and Insights into its Physiological Significance	Horm Metab Res 2013; 45: 501-506
65	Miyashita M	Project for Schizophrenia and Affective Disorder Research, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Department of Psychiatry,	Clinical Features of Schizophrenia with Enhanced Carbonyl Stress.	Schizophrenia Bulletin, 40:1040-1046, 2014
66	Kito H	Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine	Comparison of alterations in cerebral hemoglobin oxygenation in late life depression and Alzheimer's disease as assessed by near-infrared spectroscopy.	Behavioral and Brain Functions, doi: 10.1186/1744-9081-10-8 (in press)



67	Sasayama D	Department of Mental Disorder Research, National Institute of Neurosciences. Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine	Increased cerebrospinal fluid interleukin-6 levels in patients with schizophrenia and those with major depressive disorder.	Journal of Psychiatric Research, 47:401-406, 2013
68	Sasayama D	Department of Mental Disorder Research, National Institute of Neurosciences. Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine	Possible association of <i>CUX1</i> gene polymorphisms with antidepressant response in major depressive disorder.	The Pharmacogenomics Journal, 13:354-358,2013
69	Sasayama D	Department of Mental Disorder Research, National Institute of Neurosciences. Department of Psychiatry, Shinshu University	Identification of Single Nucleotide Polymorphisms Regulating Peripheral Blood mRNA Expression with Genome-Wide Significance: An eQTL Study in the Japanese Population.	Plos One, 8: e54967, 2013
70	Kinoshita Y	Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine	Supported employment for adults with severe mental illness.	The Cochrane database of Systematic Reviews, 13:9, CD008297, 2013
71	Yasaki T	Department of Psychiatry, Shinshu University School of Medicine	Cavum septum pellucidum and cavum vergae with late-onset catatonia.	The Journal of ECT, 29:e45-6, 2013
72	馬場 淳	小児科	Functional Evaluation of Bubble CPAP for Neonates using a Leak Model.	Shinshu Medical J 61.65-73.2013
73	馬場 淳	小児科	Extremely low flow tracheal gas insufflation of helium-oxygen mixture improves gas exchange in a rabbit model of piston-type high-frequency oscillatory ventilation.	BioMedical Engineering OnLine 12.29-29.2013
74	新美妙美	小児科	Evaluation of Behavior and Cognitive Function in Children with Myoclonic Astatic Epilepsy.	Pediatrics & Therapeutics 2013
75	才田 兼	小児科	A case of Bardet-Biedl syndrome complicated.	Brain Dev 26.2013
76	平林耕一	小児科	Neurologically normal development of a patient with severe methionine adenosyltransferase I/III deficiency after continuing dietary methionine restriction.	Gene 530.104-108.2013
77	坂下一夫	小児科	Usefulness of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in first complete remission for pediatric blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm with skin involvement: a case report and review of literature.	Pediatr Blood Cancer 60.140-142.2013
78	柳沢 龍	小児科	Replaced platelet concentrates containing a new additive solution, M-sol: safety and efficacy for pediatric patients.	Transfusion 53.2053-2060.2013
79	中沢洋三	小児科	Recipient seropositivity for adenovirus type 11 (AdV11) is a highly predictive factor for the development of AdV11-induced hemorrhagic cystitis after allogeneic hematopoietic SCT.	Bone Marrow Transplant 48.737-739.2013
80	平林耕一	小児科	Successful ganciclovir therapy in a patient with human herpesvirus-6 encephalitis after unrelated cord blood transplantation: usefulness of longitudinal measurements of viral load in cerebrospinal fluid.	Infection 41.219-223.2013

81	中沢洋三	小児科	Evaluation of long-term transgene expression in piggyBac-modified human T lymphocytes.	J Immunother 36.3-10.2013
82	Nakamura K	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Platinum and anthracycline therapy for advanced cutaneous squamous cell carcinoma	Int J Clin Oncol. 2013 Jun;18(3):506-9
83	Uhara H	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Clinical course of drug-induced hypersensitivity syndrome treated without systemic corticosteroids.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2013 Jun;27(6):722-6
84	Mikoshiba A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Clinical effects of stereotactic radiation surgery in patients with metastatic melanoma.	J Dermatol. 2013 Aug;40(8):626-8
85	Ashida A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	A case of hypocomplementaemic urticarial vasculitis with a high serum level of rheumatoid factor.	Australas J Dermatol. 2013 Aug;54(3):e62-3
86	Minagawa A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Age-related prevalence of dermoscopic patterns in acquired melanocytic nevus on acral volar skin.	JAMA Dermatol. 2013 Aug;149(8):989-90
87	Minagawa A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Dermoscopic characteristics of acquired melanocytic naevus in childhood affecting the acral region.	Acta Derm Venereol. 2013 Nov;93(6):751-2
88	Kobayashi A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Bullous formation in a patient with familial amyloid polyneuropathy type I.	Int J Dermatol. 2013 Nov;52(11):1398-400
89	Sato Y	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Combination chemotherapy of carboplatin and paclitaxel for metastatic melanoma.	J Dermatol. 2013 Dec;40(12):1050-1
90	Ohashi A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Usefulness of high-frequency sonography for the diagnosis of asymptomatic myopathy in L5fgren's syndrome.	Int J Dermatol. 2014 Jan;53(1):e62-3
91	Mikoshiba Y	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Unilateral pigmented purpuric dermatosis associated with deep thrombosis.	Int J Dermatol. 2014 Feb;53(2):e87-8
92	Murata H	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Fibrosarcomatous variant of dermatofibrosarcoma protuberans with pancreatic metastasis.	Int J Dermatol. 2014 Feb;53(2):e140-2
93	Ashida A	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Successful treatment of rheumatoid vasculitis-associated skin ulcer with a TNF- $\alpha$ antagonist.	Int J Dermatol. 2014 Feb;53(2):e154-6
94	Uchiyama R	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	5-Hydroxymethylcytosine as a useful marker to differentiate between malignant melanomas and benign melanocytic nevi.	J Dermatol Sci. 2014 Feb;73(2):161-3
95	Okada N	Department of Dermatology, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan.	Marked histiocytic infiltration in neonatal lupus erythematosus.	J Dermatol. 2014 Feb;41(2):192-3

96	Ohya A, et al	Radiology	Lymphocyte recruitment via high endothelial venules in lymphoid stroma of Warthin's tumour	Pathology 45: 150-154, 2013
97	Fujinaga Y, et al	Radiology	Time-intensity curve in the abdominal aorta on dynamic contrast-enhanced MRI with high temporal and spatial resolution: Gd-EOB-DTPA versus Gd-DTPA in vivo	Japanese Journal of Radiology 31: 166-171, 2013
98	Fujinaga Y, et al	Radiology	Prediction of macroscopic findings of hepatocellular carcinoma on hepatobiliary phase of gadolinium-ethoxybenzyl-diethylenetriamine pentaacetic acid-enhanced magnetic resonance imaging: Correlation with pathology	Hepatology Research 43: 488-494, 2013
99	Fujinaga Y, et al	Radiology	MR features of primary and secondary malignant lymphoma of the pancreas: a pictorial review	Insights imaging 4: 321-329, 2014
100	Noriyuki Kitagawa	Division of Cancer Genomics, National Cancer Center Research Institute, Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Downregulation of the microRNA biogenesis components and its association with poor prognosis in hepatocellular carcinoma	Cancer Sci. 2013 May;104(5):543-51
101	Risako Hiraga	Department of Molecular Biology and Biochemistry, Shinshu University Graduate School of Medicine, Department of Surgery, Shinshu University Graduate School of Medicine	Nox4-derived ROS signaling contributes to TGF- $\beta$ -induced epithelial-mesenchymal transition in pancreatic cancer cells.	Anticancer Res. 2013 Oct;33(10):4431-8
102	Takuma Arai	Department of Surgery, Okaya Municipal Hospital	Assessment of treatment outcomes based on tumor marker trends in patients with recurrent hepatocellular carcinoma undergoing transcatheter arterial chemo-embolization.	Int J Clin Oncol. 2013 Nov 12. [Epub ahead of print]
103	Takahide Yokoyama	First Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Laparoscopic repair for a previously unreported form of ventral hernia on the right iliac fossa in an elderly emaciated woman.	Hernia. 2013 Nov 12. [Epub ahead of print]
104	Norihiko Furusawa	First Department of Surgery, Shinshu University School of Medicine	Surgical Treatment of 144 Cases of Hilar Cholangiocarcinoma Without Liver-Related Mortality.	World J Surg. 2014 May;38(5):1164-76
105	Yuichi Masuda	Departments of Surgery and Medicine, University of California Irvine	At pharmacologically relevant concentrations intravenous iron preparations cause pancreatic beta cell death.	Am J Transl Res. 2013 Dec 1;6(1):64-70
106	Yasuhiro Mochizuki, Ken-ichi Ito, Hiroto Izumi, Kimitoshi Kohno, Jun Amano	乳腺・内分泌外科	Expression of Polypeptide N-acetylgalactosaminyl Transferase-3 and its Association with Clinicopathological Factors in Thyroid Carcinomas	Thyroid, 23:1553-60, 2013
107	Toru Hanamura, Toshifumi Niwa, Sayo Nishikawa, Hiromi Konno, Tatsuyuki Gohno, Chika Tazawa, Yasuhiro	乳腺・内分泌外科	Androgen metabolite-dependent growth of hormone receptor-positive breast cancer as a possible aromatase inhibitor-resistance mechanism	Breast Cancer Res Treat, 139:731-740, 2013
108	Mayu Ono, Tokiko Ito, Toshiharu Kanai, Koichi Murayama, Hiroshi Koyama, Kazuma Maeno, Yasuhiro Mochizuki,	乳腺・内分泌外科	Rapid tumor necrosis and massive hemorrhage induced by bevacizumab and paclitaxel combination therapy in a case of advanced breast cancer	OncoTargets and Therapy, 6:1393-1398, 2013
109	Toru Hanamura, Toshifumi Niwa, Tatsuyuki Gohno, Masafumi Kurosumi, Hiroyuki Takei, Yuri	乳腺・内分泌外科	Possible role of the aromatase-independent steroid metabolism pathways in hormone responsive primary breast cancers	Breast Cancer Res Treat, 143:69-80, 2014

110	Takahashi J	信州大学医学部附属病院整形外科	The effect of prostaglandin E1 derivative on the symptoms and quality of life in patients with lumbar spinal stenosis.	J Orthop Sci.2013 Mar;18(2):208-15
111	Hayashi M	信州大学医学部附属病院整形外科	Carpal tunnel syndrome associated with underlying Kienbock's disease	J Hand Surg Eur 2013 Mar 5. [Epub ahead of print]
112	Hayashi M	信州大学医学部附属病院整形外科	The effect of lubricin on the gliding resistance of mouse intrasynovial tendon	Plos One 2013 Dec 13;8(12):e83836
113	Yoshimura Y	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部	Preoperative radiographic and histopathologic evaluation of central chondrosarcoma.	Arch Orthop Trauma Surg 2013 Sep;133(9):1225-31.
114	Uchiyama S	信州大学医学部附属病院整形外科	Technical Difficulties and their Prediction in Two-portal ECTR for Idiopathic Carpal Tunnel Syndrome.	Arthroscopy 2013 May;29(5):860-9.
115	Uchiyama S	信州大学医学部附属病院整形外科	Effect of early administration of alendronate after surgery for fragility distal radius fracture on radiographic fracture healing time.	Bone Joint J 2013 Nov;95-B(11):1544-50.
116	Kuraishi S	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部	Pedicle Morphology Using CT-based Navigation System in Adolescent Idiopathic Scoliosis.	J Spinal Disord Tech 2013 Feb;26(1):22-8.
117	Haniu H	信州大学医学部運動機能学講座	Culture medium type affects endocytosis of multi-walled carbon nanotubes in BEAS-2B cells and subsequent biological response.	Toxicol In Vitro. 2013 Sep;27(6):1679-85.
118	堀内哲吉	信州大学脳神経外科	Emergency EC-IC bypass for symptomatic atherosclerotic ischemic stroke.	Neurosurg Rev; 36(4); 559-565; 2013 Oct.
119	堀内哲吉	信州大学脳神経外科	Mechanical evaluation of long titanium alloy clip—comparison of cobalt alloy clip.	Neurol Med Chir (Tokyo); 54(3); 176-179; 2014 March
120	伊東清志	信州大学医学部附属病院脳神経外科	Comparative study of fibrin and chemical synthetic sealant on dural regeneration and brain damage.	J Neurosurg; Spine; 19(6); 736-743; 2013 Dec.
121	Tiepeng Xiao	Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine	Vital staining with iodine solution in oral cancer: iodine infiltration, cell proliferation, and glucose transporter 1	Int J Clin Oncol 18 792-800 2013
122	Tetsu Shimane	Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine	Clinical significance of apoptosis-associated speck-like protein containing a caspase recruitment domain in oral squamous cell carcinoma	OOOO 115 799-809 2013
123	Reiko Tokita	Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu University School of Medicine	Second Primary Squamous Cell Carcinoma Arising in a Skin Flap: A Case Report and Literature Review on Etiologic Factors and Treatment Strategy	J Oral Maxillofac Surg 71 1619-1625 2013
124	Imamura T, Ishizuka O, Ogawa T, Yamagishi T, Yokoyama H, Mnagawa T, Nakazawa M,	下部尿路医学講座	Pathways Involving Beta-3 Adrenergic Receptors Modulate Cold Stress-induced Detrusor Overactivity in Conscious Rats.	LUTS 2014 [Epub ahead of print]

125	Imamura T, Ishizuka O, Sudha GS, Lei Z, Hosoda T, Noguchi W, Yamagishi T, Kurizaki Y, Nishizawa O	下部尿路医学講座	A galenical produced from Ba-Wei-Huang-Wan (THC-002) provide resistance to the cold stress-induced detrusor overactivity in conscious rats.	Neurourol Urodyn 32: 486-492, 2013
126	Ishizuka O, Matsuyama H, Sakai H, Matsubara A, Nagaoka A, Takahashi S, Takeda M, Ozono S, Shiroyki	泌尿器科	Nocturia potentially influences maintenance of sexual function in elderly men with benign prostatic hyperplasia.	LUTS 5: 75-81, 2013
127	Ishizuka O, Nishizawa O, Nishizawa S, Satoh T, Wajiki M, Kiyokawa H, Inoue Y, Kobayashi S, Mizusawa H,	泌尿器科	Comparison of efficacy and safety of one- and three-month luteinizing hormone-releasing hormone agonist depots as initial therapies for prostate cancer.	I J Clin Oncol 18: 524-530, 2013
128	Kurizaki Y, Ishizuka O, Imamura T, Ichino M, Nishizawa O	泌尿器科	Correlation between bladder mucosal alpha 1D/alpha-1A adrenoceptor mRNA ratio and lower urinary tract function in benign prostatic obstruction patients.	LUTS 5: 60-64, 2013
129	Kurizaki Y, Ishizuka O, Imamura T, Nishizawa O, Andersson KE	泌尿器科	Relationship between expression of beta3-adrenoceptor mRNA in bladder mucosa and urodynamic findings in men with lower urinary tract symptoms.	Neurourol Urodyn 32: 88-91, 2013
130	Lei Z, Ishizuka O, Imamura T, Noguchi W, Yamagishi T, Yokoyama H, Kurizaki Y, Sudha GS, Hosoda T,	泌尿器科	Functional roles of transient receptor potential melastatin 8 (TRPM8) in the cold stress-induced detrusor overactivity pathways in conscious rats.	Neurourol Urodyn 32: 500-504, 2013
131	Mendez A, Sawan M, Minagawa T, Wyndaele JJ	泌尿器科	Estimation of the Bladder volume from afferent neural activity.	IEEE Trans Neural Syst Rehabil Eng 21: 704-15, 2013
132	Minagawa T, Aizawa N, Igawa Y, Wyndaele JJ	泌尿器科	The role of transient receptor potential ankyrin 1 (TRPA1) channel in activation of single unit mechanosensitive bladder afferent activities in the rat.	Neurourol Urodyn 33: 544-549, 2014
133	Minagawa T, Wyndaele M, Aizawa N, Igawa Y, Wyndaele JJ	泌尿器科	Mechanisms of pelvic organ cross-talk: 2. Impact of colorectal distention on afferent nerve activity of the rat bladder.	J Urol 190: 1123-30, 2013
134	Noguchi W, Ishizuka O, Imamura T, Kurizaki Y, Yamagishi T, Yokoyama H, Zhang L, Sudha GS, Nishizawa O,	泌尿器科	The relationship between alpha1-adrenergic receptors and TRPM8 channels in detrusor overactivity induced by cold stress in ovariectomized rats.	J Urol 189: 1975-1981, 2013
135	Sudha GS, Imamura T, Ishizuka O, Zhang L, Yamagishi T, Yokoyama H, Minagawa T, Ogawa T, Kurizaki Y, Kato	下部尿路医学講座	Implantation of autologous adipose-derived cells reconstructs functional urethral sphincters in rabbit cryo-injured urethra.	Tissue Eng Part A 20: 1971-1979, 2014
136	Suzuki H, Suzuki T, Ishizuka O, Nishizawa O, Ueno M	泌尿器科	Efficacy and safety of advanced renal cell carcinoma patients treated with sorenfenib: roles of cytokine pretreatment	I J Clin Oncol 19: 686-692, 2014
137	Takeda M, Nishizawa O, Gotoh M, Yoshida M, Takahashi S, Masumori N	泌尿器科	Clinicalefficacy and safety of imidafenacin as add-on treatment for persistent overactivebladder symptoms despite alpha-blocker treatment in patients with BPH: the ADDITIONstudy.	Urology 82: 887-93, 2013
138	Wyndaele M, De Wachter S, De Man J, Minagawa T, Wyndaele JJ, Pelckmans PA, De Winter BY	泌尿器科	Mechanisms of pelvic organ crosstalk: 1. Peripheral modulation of bladder inhibition by colorectal distention in rats.	J Urol 190: 765-71, 2013

139	Yamagishi T, Ishizuka O, Imamura T, Yokoyama H, Ogawa T, Kurizaki Y, Nishizawa O, Andersson KE	泌尿器科	Alpha1 -adrenergic receptors mediate bladder overactivity induced by cold stress in rats with bladder outlet obstruction.	NeuroUrol Urodyn [Epub ahead of print]
140	Yamaguchi O, Nishizawa O, Juul KV, Nørgaard JP	泌尿器科	Gender difference in efficacy and dose response in Japanese patients with nocturia treated with four different doses of desmopressin orally disintegrating tablet in a randomized, placebo-controlled trial.	BJU Int 111: 474-84, 2013
141	Yamanishi T, Homma Y, Nishizawa O, Yasuda K, Yokoyama O: SMN-X Study Group	泌尿器科	Multicenter, randomized, sham-controlled study on the efficacy of magnetic stimulation for women with urgency urinary incontinence.	Int J Urol 21:395-400, 2014
142	Yokoyama H, Oguchi T, Goins WF, Goss JR, Nishizawa O, de Groat WC, Wolfe D, Krisky DM, Glorioso JC,	泌尿器科	Effects of herpes simplex virus vector-mediated enkephalin gene therapy on bladder overactivity and nociception.	Hum Gene Ther 24: 170-80, 2013
143	Ishizuka O, Imamura T, Kurizaki Y, Nishizawa O, Andersson KE	泌尿器科	Male lower urinary tract symptoms and alpha 1D-adrenoceptors.	Int J Urol 20: 73-78, 2013
144	Ishizuka O	泌尿器科	Editorial comment from Dr. Ishizuka to Effect of intrathecal administration of E-series prostaglandin (EP) 1 receptor antagonist in a cyclophosphamide-induced cystitis rat model.	Int J Urol 20: 240, 2013
145	Ishizuka O	泌尿器科	Editorial comment from Dr. Ishizuka to Efficacy of dose increase therapy with alpha 1D/A-adrenoreceptor antagonist naftopidil for the male lower urinary tract symptoms associated with benign prostatic hyperplasia.	Int J Urol 20: 520, 2013
146	Saito T, Nishizawa O, Ishikawa M, Simojima Y, Oguchi T, Suzuki H, Yokoyama H, Ichino M, Kato H, Ishizuka O	泌尿器科	Secondary tranobturator tape (TOT) procedure after combined pelvic organ prolapse repair.	LUTS 5: 52-54, 2013
147	Yasuhiro Iesato	眼科 循環病態学	Adrenomedullin-RAMP2 System Is Crucially Involved in Retinal Angiogenesis	Am J Pathol. 2013; 182(6) : 2380-90
148	Takao Hirano	眼科	Correlation between diabetic retinopathy severity and elevated skin autofluorescence as a marker of advanced glycation end-product accumulation in type 2 diabetic patients.	J Diabetes Complications. 2014 Mar 10. pii: S1056-8727(14)00058-0. doi: 10.1016/j.jdiacomp.2014.03.003. [Epub ahead of print]
149	Iwasaki S	耳鼻科	Hearing handicap in adults with unilateral deafness and bilateral hearing loss	Otol Neurotol 34(4) 644-649 2013
150	Naito T	耳鼻科	Comprehensive Genetic Screening of KCNQ4 in a Large Autosomal Dominant Nonsyndromic Hearing Loss Cohort: Genotype-Phenotype Correlations and a Founder Mutation	PLoS ONE 8(5)e63231
151	Kainuma K	耳鼻科	Prevalence of level V metastasis in head and neck squamous cell carcinoma	Acta Otolaryngol 133(2) 218-224 2013
152	Yoshimura H	耳鼻科	An Usher syndrome type 1 patient diagnosed before the appearance of visual symptoms by MYO7A mutation analysis.	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 77(2) 298-302 2013

153	Miyagawa M	耳鼻科	Targeted exon sequencing successfully discovers rare causative genes and clarifies the molecular epidemiology of Japanese deafness patients	PLoS ONE 8(8) e71381 2013
154	Miyagawa M	耳鼻科	Massively parallel DNA sequencing successfully identifies new causative mutations in deafness genes in patients with cochlear implantation and EAS.	PLoS ONE 8(10) e75793 2013
155	Iwasa Y	耳鼻科	OTOF mutation screening in Japanese severe to profound recessive hearing loss patients.	BMC Med Genet 14(1) 95
156	Tsukada K	耳鼻科	Effects of EAS cochlear implantation surgery on vestibular function	Acta Otolaryngol 133(11) 1128-1132 2013
157	Moteki H	耳鼻科	Evaluation of cortical processing of language by use of positron emission tomography in hearing loss children with congenital cytomegalovirus infection.	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 78(2) 285-289 2013
158	Miyamoto T, Suzuki A, Asaka R, Ishikawa K, Yamada Y, Kobara H, Nakayama J, Shiozawa T	Obstetrics and Gynaecology	Immunohistochemical expression of core 2 beta1,6-N-acetylglucosaminyl transferase 1 (C2GnT1) in endometrioid-type endometrial carcinoma: a novel potential prognostic factor.	Histopathology 62(7) :986-993,2013
159	Ohira S, Ookubo N, Tanaka K, Takatsu A, Kobara H, Kikuchi N, Ohya A, Kanai M, Shiozawa T	Obstetrics and Gynaecology	Placental mesenchymal dysplasia: chronological observation of placental images during gestation and review of the literature.	Gynecol Obstet Invest 75(4) :217-223,2013
160	Takatsu A, Miyamoto T, Fuseya C, Suzuki A, Kashima H, Horiuchi A, Ishii K, Shiozawa T	Obstetrics and Gynaecology	Clonality analysis suggests that STK11 gene mutations are involved in progression of lobular endocervical glandular hyperplasia (LEGH) to minimal deviation adenocarcinoma (MDA).	Virchows Arch 462(6) :645-651,2013
161	Kobara H, Miyamoto T, Suzuki A, Asaka R, Yamada Y, Ishikawa K, Kikuchi N, Ohira S, Shiozawa T	Obstetrics and Gynaecology	Lipocalin2 enhances the matrix metalloproteinase-9 activity and invasion of extravillous trophoblasts under hypoxia.	Placenta 34(11) : 1036-1043,2013
162	Utsuno H, Oka K, Yamamoto A, Shiozawa T	Obstetrics and Gynaecology	Evaluation of sperm head shape at high magnification revealed correlation of sperm DNA fragmentation with aberrant head ellipticity and angularity.	Fertility and Sterility 99(6) :1573-1580,2013
163	Ohata E, Matsuo K, Ban R, Shiba M, Yasunaga	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine	Electromyographic comparison of forearm muscle movements for fine skin suturing between an enlarged pen needle holder and a webster needle holder.	Eplasty. 2013 May 6;13:e22. Print 2013.
164	Ban R., Matsuo K., Ban M., Yuzuriha S	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine	Eyebrow ptosis after blowout fracture indicates impairment of trigeminal proprioceptive evocation that induces reflex contraction of the frontalis muscle.e-plasty	Eplasty. 2013 Jun 20;13:e33. Print 2013.
165	Fujita K., Matsuo K., Yuzuriha S.	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine	A ringed fascia Lata graft without peritendinous areolar tissue encircling the levator veli palatine and superior pharyngeal constrictor muscles gradually shrinks to reduce velopharyngeal incompetence, functioning as an intravelar palatal lift.	Eplasty. 2013 Jun 21;13:e34. Print 2013.
166	Ban M., Matsuo K., Ban R., Yuzuriha S., Kaneko A.	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine	Developed Lower-Positioned transverse ligament restricts eyelid opening and determines Japanese as being with or without visible superior palpebral crease.	Eplasty. 2013 Jul 5;13:e37. eCollection 2013.

167	Mishina Y, Matsuo K, Yuzuriha S, Kaneko A.	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine	The Supraorbital Margin of Japanese Who Have No Visible Superior Palpebral Crease and Persistently Lift the Eyebrow in Primary Gaze is Higher and More Obtuse Than Those Who Do Not	Eplasty. 2013 Jul 25;13:e39. eCollection 2013
168	Ohtsubo M, Fujita K, Tsunekawa K, Yuzuriha S, Matsuo K.	Department of Plastic and Reconstructive Surgery, Shinshu University School of Medicine	CASE REPORT Penetrating Injury of the Orbit by a Needlefish.	Eplasty. 2013 Aug 6;13:e41. eCollection 2013.
169	Sueki A, Matsuda K, Taira C, Yamaguchi A, Koeda H, Takagi F, Kobayashi Y, Sugano M, Honda T	Department of Laboratory Medicine	Rapid detection of PML-RARA fusion gene by novel high-speed droplet-reverse transcriptase-polymerase chain reaction: possibility for molecular diagnosis without lagging behind the morphological analyses	Clin Chim Acta : 415,276-278,2013
170	Soya K, Terasawa F, Okumura N	Department of Laboratory Medicine	Fibrinopeptide A release is necessary for effective B:b interactions in polymerisation of variant fibrinogens with impaired A:a interactions	Thromb Haemost :109(2),221-228,2013
171	Uehara T, Ma D, Yao Y, Lynch JP, Morales K, Ziober A, Feldman M, Ota H, Sepulveda AR	Department of Laboratory Medicine	H. pylori Infection Is Associated with DNA Damage of Lgr5-Positive Epithelial Stem Cells in the Stomach of Patients with Gastric Cancer	Digestive Diseases and Sciences :58,140-149,2013
172	Uehara T, Ma D, Sepulveda AR	Department of Laboratory Medicine	Molecular Pathology of Inflammatory Bowel Disease-Associated Neoplasia	Molecular Pathology of Neoplastic Gastrointestinal Diseases :10,173-178,2013
173	Takewzawa Y, Matsuda K, Terasawa F, Sugano M, Honda T, Okumura N.	Department of Laboratory Medicine	siRNA down-regulation of FGA mRNA in HepG2 cells demonstrated that heterozygous abnormality of the A $\alpha$ -chain gene does not affect the plasma fibrinogen level.	Thromb Res :131,342-248,2013
174	Soya K, Takezawa Y, Okumura N, Terasawa F	Department of Laboratory Medicine	Nonsense-mediated mRNA decay was demonstrated in two hypofibrinogenemias caused by heterozygous nonsense mutations of FGG, Shizuoka III and Kanazawa II	Thromb Res :132,465-470,2013
175	Matsumoto T, Hidaka E, Kasuga E, Sugano M, Oana K, Kawakami Y, Honda T.	Department of Laboratory Medicine	Isolation of an X-factor-dependent but porphyrin-positive Escherichia coli from urine of a patient with hemorrhagic cystitis.	J Infect Chemother :19,764-766,2013
176	Asaka S, Yoshida K, Hashizume M, Ito K.	Department of Laboratory Medicine	A Mediastinal Liposarcoma Resected Using a Double Approach with a Thoracoscope	Thoracic Surgery :2,46-49,2013
177	Uehara T, Masumoto J, Yoshizawa A, Kobayashi Y, Hamano H, Kawa S, Oki K, Oikawa N, Honda T, Ota H.	Department of Laboratory Medicine	IgG4-related disease-like fibrosis as an indicator of IgG4-related lymphadenopathy	Ann Diagn Pathol :17,416-420,2013
178	Taira C, Matsuda K, Yamaguchi A, Sueki A, Koeda H, Takagi F, Kobayashi Y, Sugano M, Honda T	Department of Laboratory Medicine	Novel high-speed droplet-allele specific-polymerase chain reaction: Application in the rapid genotyping of signal nucleotide polymorphisms	Clin Chim Acta :424,39-46,2013
179	Ishimine N, Honda T, Yoshizawa A, Kawasaki K, Sugano M, Kobayashi Y, Matsumoto T.	Department of Laboratory Medicine	Combination of white blood cell count and left shift level real-timely reflects a course of bacterial infection.	J Clin Lab Anal : 415,276-278,2013
180	Yoshizawa A, Sumiyoshi S, Sonobe M, Kobayashi M, Fujimoto M, Kawakami F, Tsuruyama T, Travis	Department of Laboratory Medicine	Validation of the IASLC/ATS/ERS lung adenocarcinoma classification for prognosis and association with EGFR and KRAS gene mutations: analysis of 440 Japanese patients.	J Thorac Oncol :8(1)52-61,2013



181	Miyake N, Kosho T, Matsumoto N	Division of Clinical and Molecular Genetics	Ehlers–Danlos syndrome associated with glycosaminoglycan abnormalities.	Adv Exp Med Biol 2014;802:145–59. doi: 10.1007/978-94-007-7893-1_10.
182	Shimizu K, Wakui K, Kosho T, Okamoto N, Mizuno S, Itomi K, Hattori S, Nishio K, Samura O, Kobayashi Y, Kako Y, Arai T,	Division of Clinical and Molecular Genetics	Microarray and FISH-based genotype–phenotype analysis of 22 Japanese patients with Wolf–Hirschhorn syndrome.	Am J Med Genet A 2014 Mar;164A(3):597–609. doi: 10.1002/ajmg.a.36308. Epub 2013 Dec 19.
183	Nishi E, Takamizawa S, Iio K, Yamada Y, Yoshizawa K, Hatata T, Hirota T, Mizuno S, Kawame H, Fukushima Y.	Division of Clinical and Molecular Genetics	Surgical intervention for esophageal atresia in patients with trisomy 18.	Am J Med Genet A 2014 Feb;164A(2):324–30. doi: 10.1002/ajmg.a.36294. Epub 2013 Dec 5.
184	Higashimoto K, Jozaki K, Kosho T, Matsubara K, Fuke T, Yamada D, Yatsuki H, Maeda T, Ohtsuka Y, Nishioka	Division of Clinical and Molecular Genetics	A novel de novo point mutation of the OCT-binding site in the IGF2/H19-imprinting control region in a Beckwith–Wiedemann syndrome patient.	Clin Genet 2013 Nov 8. doi: 10.1111/cge.12318. [Epub ahead of print]
185	Miyake N, Koshimizu E, Okamoto N, Mizuno S, Ogata T, Nagai T, Kosho T, Ohashi H, Kato M, Sasaki G, Mabe H.	Division of Clinical and Molecular Genetics	MLL2 and KDM6A mutations in patients with Kabuki syndrome.	Am J Med Genet A 2013 Sep;161A(9):2234–43. doi: 10.1002/ajmg.a.36072. Epub 2013 Aug 2.
186	Sugiura K, Takeichi T, Tanahashi K, Ito Y, Kosho T, Saïda K, Uhara F, Okuyama R, Akiyama M.	Division of Clinical and Molecular Genetics	Lamellar ichthyosis in a collodion baby caused by CYP4F22 mutations in a non-consanguineous family outside the Mediterranean.	J Dermatol Sci. 2013 Nov;72(2):193–5. doi: 10.1016/j.jdermsci.2013.06.008. Epub 2013 Jun 28.
187	Nitta H, Unoki M, Ichiyangi K, Kosho T, Shigemura T, Takahashi H, Velasco G, Francastel C, Picard C, Kubota T,	Division of Clinical and Molecular Genetics	Three novel ZBTB24 mutations identified in Japanese and Cape Verdean type 2 ICF syndrome patients.	J Hum Genet. 2013 Jul;58(7):455–60. doi: 10.1038/jhg.2013.56. Epub 2013 Jun 6.
188	Kosho T, Kuniba H, Tanikawa Y, Hashimoto Y, Sakurai H.	Division of Clinical and Molecular Genetics	Natural history and parental experience of children with trisomy 18 based on a questionnaire given to a Japanese trisomy 18 parental support group.	Am J Med Genet A 2013 Jul;161A(7):1531–42. doi: 10.1002/ajmg.a.35990. Epub 2013 May 29.
189	Kosho T, Okamoto N, Ohashi H, Tsurusaki Y, Imai Y, Hibi-Ko Y, Kawame H, Homma T, Tanabe S, Kato M, Hiraki Y.	Division of Clinical and Molecular Genetics	Clinical correlations of mutations affecting six components of the SWI/SNF complex: detailed description of 21 patients and a review of the literature.	Am J Med Genet A 2013 Jun;161A(6):1221–37. doi: 10.1002/ajmg.a.35933. Epub 2013 May 1.
190	Tanaka K, Sekijima Y, Yoshida K, Tamai M, Kosho T, Sakurai A, Wakui K, Ikeda S, Fukushima Y.	Division of Clinical and Molecular Genetics	Follow-up nationwide survey on predictive genetic testing for late-onset hereditary neurological diseases in Japan.	J Hum Genet 2013 Aug;58(8):560–3. doi: 10.1038/jhg.2013.34. Epub 2013 May 2.
191	Fukushima T, Tateishi K, Yamamoto H, Hanōoka M, Kubo K, Koizumi T	信州がんセンター	Clinical characteristics and outcomes of patients with small cell lung cancer detected by CT screening	Med Oncol 30(3): 623–628, 2013
192	Koizumi T, Kobayashi T, Tanabe T, Tsushima K, Yasuo M	信州がんセンター	Clinical experience of bronchoscopy-guided radiofrequency ablation for peripheral-type lung cancer	Case Rep Oncol Med doi: 10.1155/2013/515160
193	Tateishi K, Ichiyama T, Hirai K, Agatsuma T, Koyama S, Hachiya T, Morozumi N, Shiina T, Koizumi T	信州がんセンター	Clinical outcomes in elderly patients administered gefitinib as first-line treatment in epidermal growth factor receptor-mutated non-small-cell lung cancer: retrospective analysis in a Nagano Lung Cancer Research Group Study	Med Oncol 30: 450–455, 2013

194	Koizumi T, Katou A, Ikegawa K, Kosaka M, Tateishi K, Yokoyama T, Ushiki A, Kanca S, Tsushima K, Yamamoto H,	信州がんセンター	Comparative analysis of PET findings and clinical outcome in patients with primary mediastinal seminoma	Thoracic Cancer 4: 241-248, 2013
195	Koizumi T, Sasaki S, Sakamoto A, Kobayashi T	信州がんセンター	Efficacy of erlotinib plus concurrent whole-brain radiation therapy for patients with brain metastases from non-small cell lung cancer	Ann Palliat Med 2(3): 111-113, 2013
196	Kawakami T, Ito T, Sakai H, Sekiguchi N, Nakazawa H, Senoo N, Nishina S, Ishida F	信州がんセンター	Large vessel vasculitis developed early after allogeneic bone marrow transplant for acute erythroid leukemia	Leuk Lymphoma 54(12): 2748-2749, 2013
197	Sekiguchi N, Joshita S, Yoshida T, Kurozumi M, Sano K, Nakagawa M, Matsushita T, Komatsu D, Komatsu	信州がんセンター	Liver Dysfunction and Thrombocytopenia Diagnosed as Intravascular Large B-cell Lymphoma Using a Timely and Accurate Transjugular Liver Biopsy	Intern Med 52(17): 1903-1908, 2013
198	Eguchi T, Yoshida K, Kondo R, Hamanaka K, Shiina t, Komatsu Y, Yamamoto H, Kubo K, Hasegawa J, Koizumi T	信州がんセンター	Sivelestat Prevents Cytoskeletal Rearrangements in Neutrophils Resulting Re-expansion Following One-Lung Ventilation During Thoracic Surgery	Inflammation 36(6): 1479-1484, 2013
199	Koizumi T, Fukushima T, Hamanaka K, Shiina T, Yoshida K, Kondo R, Yamamoto R, Nishizawa N	信州がんセンター	Surgical outcomes in patients with small cell lung cancer: comparative analysis of computed tomography-detected patients with others	World J Surg Oncol 11: 61, 2013
200	Tsushima K, Yokoyama T, Koizumi T, Kubo K, Tatsumi K	信州がんセンター	The concept study of recombinant human soluble thrombomodulin in patients with acute respiratory distress syndrome	Inter Journal of Clinical Medicine 4: 488-495, 2013
201	SASAKI Takamitsu	東北薬科大学、名古屋市立大学、信州大学医学部附属病院薬剤部	Hepatocyte nuclear factor 6 activates the transcription of CYP3A4 in hepatocyte-like cells differentiated from human induced pluripotent stem cells	Drug Metab Pharmacokinetic, 28, 250-259, 2013
202	YAMAORI Satoshi	信州大学医学部附属病院薬剤部、北陸大学、就実大学、岡山大学、九州保健福祉大学	Structural requirements for potent direct inhibition of human CYP1A1 by cannabidiol: role of pentylresorcinol moiety	Biol Pharm Bull, 36, 1197-1203, 2013
203	WATANABE Kazuhito	北陸大学、信州大学医学部附属病院薬剤部、浜松医科大学	Human brain microsomes: their abilities to metabolize tetrahydrocannabinols and cannabiniol	Forensic Toxicol, 31, 307-311, 2013
204	JIANG Rongrong	北陸大学、信州大学医学部附属病院薬剤部、九州保健福祉大学	Cannabidiol is a potent inhibitor of the catalytic activity of cytochrome P450 2C19	Drug Metab Pharmacokinetic, 28, 332-338, 2013
205	YAMAORI Satoshi	信州大学医学部附属病院薬剤部、北陸大学、九州保健福祉大学	Delta8-Tetrahydrocannabinol induces cytotoxicity in macrophage J774-1 cells: involvement of cannabinoid receptor 2 and p38 MAPK	Toxicology, 314, 254-261, 2013

計 12  
合計 205

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	小松佳道	呼吸器・感染症内科	長野県諏訪市の某企業における喫煙者の経年的1秒量の低下に関する疫学的研究—人間ドックデータより—	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 23(2):193-197, 2013.
2	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	《PADの保存的治療と血行再建術》PADの薬物療法・運動療法	内科 111(1):63-66,2013
3	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	Poly vascular diseaseに対する治療のアプローチ	冠疾患誌 19:54-57,2013
4	池田宇一	内科学第五(循環器内科学)	心疾患における抗凝固療法	日本内科学会雑誌 102:653-657,2013
5	三浦 崇	内科学第五(循環器内科学)	急性冠症候群の急性期薬物療法	日本医師会雑誌 141(12):2651-2655,2013
6	池田宇一	内科学第五(循環器内科学)	心筋梗塞に対する細胞治療	bios 18(2):7-8,2013
7	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	PADの薬物療法～リスク低減療法としてのEPA製剤を含めて～	循環plus 13(9):7-9,2013
8	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	糖尿病足病変の病態から治療まで ①病態と概念	PRACTICE 30(4):401-403,2013
9	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	糖尿病足病変の病態から治療まで ②ハイリスク患者の同定と診断	PRACTICE 30(5):541-544,2013
10	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	糖尿病足病変の病態から治療まで ③集学的治療の実際	PRACTICE 30(6):681-684,2013
11	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	今、動脈硬化はこう治療する 末梢動脈疾患	Mebio 30(9):58-65,2013
12	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	重症虚血肢(CLI)における薬物療法	Visual Dermatology 12(11):1140-1141,2013
13	富田 威	内科学第五(循環器内科学)	不整脈の治療【患者を前に】心房粗動に対する治療	Medicina 50(13):2204-2207,2013

14	宮下裕介	内科学第五(循環器内科学)	ASO治療-(3) 1.血行再建術(血管内治療)	血栓と循環 21(3):210-213,2013
15	池田宇一	内科学第五(循環器内科学)	末梢動脈疾患に対する再生治療	日本医師会雑誌 142(9):1960,2013
16	池田宇一	内科学第五(循環器内科学)	血管疾患の治療・検査における用語解説 PAD/ASO	Vascular Lab 10(1):89,2013
17	柴 祐司	内科学第五(循環器内科学)	待集循環器再生医療の現状と展望 心筋細胞 移植と不整脈	月刊循環器 3(9):77- 84,2013
18	柴 祐司	内科学第五(循環器内科学)	循環器疾患における再生医療の展望 幹細胞 を用いた心筋再生	循環plus 14(2):10- 12,2013 .
19	橋本幸始	信州大学医学部附属病院腎臓 内科	当院の腹膜透析患者におけるCKD-MBD管理 の現状	長野県透析研究会 誌;36;1;84-86;2013
20	齊藤博美	信州大学 医学部内科学第2講 座	乳び腹水に対してオクトレオチド投与が有効で あった子宮頸癌、肝細胞癌合併C型肝硬変の1 例	肝臓;54;4;284- 290;2013
21	梅村武司	信州大学 医学部消化器内科	【B型肝炎ウイルスの再活性化の現状と対策】 de novo B型肝炎のウイルス学的特徴	消化器内 科;57;5;624- 626;2013
22	樋口誠	信州大学医学部附属病院 腎 臓内科	【ジェネリック医薬品の現状と課題】臨床医から みたジェネリック医薬品 循環器疾患	Progress in Medicine;33;5;1085- 1088;2013
23	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二 講座	HBV関連抗原の定量とその臨床応用	犬山シンポジウム;29 回;43-49;2013
24	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二 講座	【ウイルス性肝炎の最近の話題-B型・C型肝炎 を中心に】HBVマーカーとその利用法 とりわ けHBs抗原定量測定について	成人病と生活習慣 病;43;11;1353- 1358;2013
25	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二 講座	【ウイルス肝炎-治療の最前線-】《治療のコツと ピットホール》B型肝炎における核酸アナログ の中止基準	Modern Physician;33;4;435- 439;2013
26	菅智明	信州大学 医学部消化器内科	【最新消化器内視鏡治療のすべて】静脈瘤出 血に対する内視鏡治療 胃静脈瘤(L <sub>g</sub> -V)に対す る治療	消化器内視 鏡;25;9;1406- 1409;2013
27	上條祐司	信州大学 医学部内科学第二 講座	最新トピックス イヌリンクリアランスと推算糸球体 ろ過量	信州医学雑 誌;61;5;343- 346;2013

28	橋本幸始	信州大学 医学部腎臓内科	腹膜透析カテーテル留置術において腹横筋膜面ブロック(TAP block)は有用である	腎と透析;74;別冊 アクセス2013
29	橋本幸始	信州大学 医学部腎臓内科	両手・両足の痺れと疼痛を呈する透析患者の1例	臨床透析;29;10;1515-1520;2013
30	橋本幸始	信州大学 医学部腎臓内科	悩ましい症例 左鎖骨下動脈の閉塞により盗血症候群を生じているシャント不全患者	透析;74;別冊 アクセス2013;202-204;2013
31	丸山真弘	信州大学 消化器内科	【自己免疫性膵炎の最前線】自己免疫性膵炎と膵石症	胆と膵;34;9;737-744;2013
32	丸山真弘	信州大学 医学部消化器内科	【IgG4と肝胆膵】既知の肝胆膵疾患との関連性慢性膵炎とIgG4関連病態 自己免疫性膵炎は慢性膵炎に移行しうる	肝・胆・膵;67;3;399-407;2013
33	奥原禎久	信州大学 医学部消化器内科	【症例に学ぶ-小腸内視鏡アトラス】腫瘍および類似病変 消化管原発濾胞性リンパ腫	消化器内視鏡;25;7;990-991;2013
34	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二講座	肝臓 肝炎検査の進歩	Annual Review消化器;2014;86-91;2014
35	田中榮司	信州大学 医学部内科学第二講座	B型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法	日本医事新報;4680;34-36;2014
36	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	第40回内科学の展望 臓器移植の現状と将来展望 1、序論	日本内科学会雑誌、2013年、102:543-544
37	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	第40回内科学の展望 臓器移植の現状と将来展望 7、遺伝病と肝移植	日本内科学会雑誌、2013年、102:582-584
38	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	第40回内科学の展望 臓器移植の現状と将来展望 9、まとめ	日本内科学会雑誌、2013年、102:592-593
39	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	HDLSの疾患概念、原因遺伝子CSF-1Rの生理機能	神経内科、2013年、78:367-371
40	池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	脳アミロイド血管症の病態と治療 家族性トランスサイレチン型脳軟膜アミロイドーシスを含む	BRAIN & NERVE、2013年、65:831-842
41	小柳清光、木下通亭	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	白質ジストロフィー、白質脳症とスフェロイド:HDLSとNasu-Hakola病における観察と考察	神経内科、2013年、78:378-387

42	柴直子、稲葉雄二、 吉庄智己、嶋海洋 子、中村昭則、笛木 昇	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	長野県におけるデュシェンヌ型筋ジストロフィー に対するチーム医療	難病と在宅ケア、2013 年、19:24-26
43	関島良樹	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	家族性アミロイドポリニューロパチーに対する新 規治療法の開発と臨床応用	日本遺伝カウンセリング 学会誌2013年、 34:31-37
44	関島良樹、池田修 一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	家族性アミロイドポリニューロパチー	医学のあゆみ、2013 年、247:515-520
45	滝沢正臣、中村昭 則、武井洋一、大原 慎司	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	在宅難病患者家族への総合在宅遠隔医療シス テムの開発	日本遠隔医療学会雑 誌、2013年、9:74-78
46	田中敬子、関島良 樹、吉田邦広、水内 麻子、山下浩美、玉 井真理子、池田修 一、福嶋義光	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	信州大学医学部附属病院遺伝子診療部にお ける遺伝性神経筋疾患の発症前診断の現状	臨床神経学、2013 年、53:196-203
47	中村昭則	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	長野県におけるDuchenne型筋ジストロフィー患 者に対するチーム医療	日本遺伝カウンセリング 学会誌、2013年、 34:39-44
48	中村昭則、吉田邦 広、松沢由美、両角 由里、池田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	信州大学医学部附属病院難病診療センターに よる長野県神経難病患者の在宅療養支援の現 状と課題	信州医学雑誌、2013 年、61:397-403
49	野村文夫、吉田邦 広、池上弥生、近藤 達郎、黒木良和、玉 井真理子、平原史 樹、村上裕美、遊佐 浩子、小杉眞司	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	遺伝情報の取り扱いに関するアンケート結果の 報告	日本遺伝カウンセリング 学会誌、2013年、 34:123-128
50	日根野晃代、中村昭 則、宮崎大吾、滝沢 正臣	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	神経難病患者におけるモバイル端末を用いた 在宅チームケアシステムの有用性	日本遠隔医療学会雑 誌、2013年、9:145- 147
51	松沢由美、中村昭 則、吉田邦広、両角 由里、高橋宏子、池 田修一	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	信州大学医学部附属病院難病診療センターに よる訪問診療に対する意識調査	信州医学雑誌、2013 年、61:217-223
52	宮崎大吾、中村昭 則、日根野晃代、滝 沢正臣	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	タブレット端末を用いた診療情報共有の有効性 評価	日本遠隔医療学会雑 誌、2013年、9:148- 151
53	森田 洋	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	第40回内科学の展望 臓器移植の現状と将来 展望 3、法的脳死判定の実際	日本内科学会雑誌、 2013年、102:552-557
54	森田 洋	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	脳血管障害	Medical Practice、 2013年、30:1525- 1527
55	森田 洋	脳神経内科、リウマチ・膠原病内 科	プロフェッショナルリズムワークショップ 長野県他 施設研修医と信州大学医学部附属病院新入職 員合同研修会での試み	医療の質・安全学会 誌、2013年、8:230- 232

56	吉田邦広	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	軸索腫大を伴う遺伝性びまん性白質脳症の臨床と分子病態	医学のあゆみ、2013年、247:433-438
57	吉田邦広、大畑尚子、武藤香織、土屋敦、澤田甚一、狭間敬憲、池田修一、戸田達史	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	神経内科専門医の遺伝子診断に対する意識調査	臨床神経学、2013年、53:337-343
58	吉田邦広、兼子一真	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	無セルロプラスミン血症の臨床	神経内科、2013年、79:439-446
59	吉長 恒明、吉田拓弘、兼子 一真	脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	肺炎球菌性髄膜炎に続発し良好な転帰であった椎体椎間板炎の1例	神経内科、2013年、78:566-569
60	高橋 徹	信州大学医学部精神医学教室	オピニオン 名は体を表す	精神科治療学、28:1104-1108, 2013
61	中山佳子	小児科	内視鏡検査による消化管疾患の鑑別と治療戦略.	日本小児アレルギー学会誌 27.86-92.2013
62	中山佳子	小児科	内視鏡検査	小児科診療 76.317-323.2013
63	中山佳子	小児科	小児の除菌法	日本臨床 71.1413-1417.2013
64	中山佳子	小児科	小児における鎮静,消化器内視鏡	消化器内視鏡 25.593-596.2013
65	中山佳子	小児科	カプセル内視鏡, バルーン内視鏡による小腸病変の診断	小児内科 45.2013-2016.2013
66	日高奈緒, 加藤沢子, 中山佳子	小児科	若年者に対するHelicobacter pyloriの除菌(小児を含めて)	Helicobacter Research 17.233-325.2013
67	日高奈緒, 加藤沢子, 中山佳子	小児科	Helicobacter研究の最新のレビューー小児領域の新知見.	Helicobacter Research 17.131-138.2013
68	花村真由, 中山佳子	小児科	機能的消化管障害のトランジションー過敏性腸症候群などを含めて.	診断と治療 101.1873-1876.2013
69	赤澤陽平	小児科	【解剖が分かる！症状と病態が理解できる！新生児画像診断の見かた・読みかたパーフェクトガイド】日齢0にチアノーゼを認め、先天性心疾患が疑われた児の画像所見は？	Neonatal Care 26.711-717.2013

70	柴直子, 稲葉雄二, 古庄知己, 鳴海洋子, 中村昭則, 笛木昇	小児科	長野県におけるデュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するチーム医療.	難病と在宅ケア 19.24-26.2013
71	稲葉雄二, 新美妙美, 西村貴文, 三澤由佳, 福山哲広, 樋口司, 滝芳樹	小児科	5歳児健診における視覚認知課題の有用性	脳と発達 45.355-359.2013
72	稲葉雄二, 本林光雄, 西村貴文, 新美妙美, 柴直子, 小池健一	小児科	てんかん発症における細胞性免疫制御機構の関与に関する研究	てんかん治療研究振興財団 研究年報 24.71-78.2013
73	中山佳子	小児科	小腸カプセル内視鏡、バルーン内視鏡による小児の小腸疾患の診断と治療	信州医誌 61.445-448.2013
74	上條 史尚	信州大学 医学部皮膚科	長期間症状が遷延している薬剤過敏症候群(DIHS)の1例	Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergy 8巻1号 Page38-42(2014.01)
75	海野 俊徳	信州大学 医学部皮膚科	Focal dermal hypoplasia syndrome(Goltz症候群)の男児例	日本小児皮膚科学会雑誌32巻2号 Page173-176(2013.06)
76	小林 彩	信州大学 医学部皮膚科	長野県における乾癬治療の現状と病診連携の可能性	西日本皮膚科75巻4号 Page346-349(2013.08)
77	竹内 大輔	信州大学医学部附属病院 消化器外科	妊娠中に虫垂炎を契機に発見された虫垂神経内分泌腫瘍の1例	日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)46巻4号 Page295-301(2013.04)
78	鈴木 彰	信州大学 消化器外科	大網・小腸・横行結腸が脱出した複合型食道裂孔ヘルニアの1例	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)74巻5号 Page1233-1238(2013.05)
79	小林 聡	信州大学 第一外科	【肝門部胆管癌の治療戦略2013】肝門部胆管癌に対する定型術式 拡大右肝切除と肝右3区域切除	外科(0016-593X)75巻5号 Page486-489(2013.05)
80	竹内 大輔	信州大学医学部附属病院 消化器外科	胃癌術後再発との鑑別を要した腹腔内デスマイド腫瘍の2例	日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)46巻5号 Page369-376(2013.05)
81	竹内 大輔	信州大学医学部附属病院 消化器外科	乳癌放射線治療後に発生した食道内分泌細胞癌(小細胞型)の1例	日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)46巻6号 Page401-408(2013.06)
82	大久保 洋平	信州大学医学部附属病院 消化器外科	抗リン脂質抗体症候群に合併した胃限局性若年性ポリポーシスの1例	日本消化器病学会雑誌(0446-6586)110巻6号 Page1022-1029(2013.06)
83	関野 康	信州大学 医学部消化器外科	ヒルシユスブルグ病術後に発症した大腸癌の2例	日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)46巻8号 Page613-625(2013.08)



84	大上 康広	信州大学 医学部消化器外科	癌肉腫、扁平上皮癌、腺様成分を伴った食道神経内分秘癌の1例	日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)46巻9号 Page647-653(2013.09)
85	増尾 仁志	信州大学医学部附属病院 消化器外科	繰り返す腹膜再発に対して手術と化学療法にて治療したS状結腸間膜平滑筋肉腫の1例	日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)46巻9号 Page692-699(2013.09)
86	酒井 宏司	信州大学 医学部消化器外科	手術手技 肝S7,8の病変を有する大腸癌同時性肝転移における用手補助腹腔鏡下肝切除術	日本内視鏡外科学会雑誌(1344-6703)18巻6号 Page737-743(2013.11)
87	鈴木 彰	信州大学 医学部消化器外科	急性上腸間膜動脈閉塞症に対する外科治療	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)75巻2号 Page337-343(2014.02)
88	竹内 大輔	信州大学 医学部消化器外科	肛門管癌の鼠径リンパ節転移郭清術の治療成績	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)75巻2号 Page344-352(2014.02)
89	福島 健太郎	信州大学 消化器外科	Components separation法が有効であった20cm大の腹壁癒痕ヘルニアの1例	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)75巻2号 Page586-589(2014.02)
90	酒井 宏司	信州大学 医学部消化器外科	腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除術を施行した胆管と交通を有する単純性肝嚢胞の1例	日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)75巻3号 Page769-774(2014.03)
91	渡邊隆之, 柴田均, 中村学, 石坂克彦, 伊藤研一	乳腺・内分泌外科	Anastrozoleが奏効した認知症を伴う高齢者再発乳癌の1例	乳癌の臨床, 28:99-104, 2013
92	家里明日美, 村山幸一, 伊藤勲子, 伊藤研一, 高山文吉	乳腺・内分泌外科	検診で要精検となり乳腺MRI検査を行った症例の検討	日乳癌検診学会誌, 22:411-418, 2013
93	伊藤研一, 大場崇且, 家里明日美, 岡田敏宏, 花村徹, 渡邊隆之, 伊藤勲子, 小山洋, 金井敏晴, 前野一真, 望月靖弘	乳腺・内分泌外科	甲状腺未分化癌の臨床像-予後と予後因子-	内分泌甲状腺外会誌, 30:168-174, 2013
94	本郷一博	信州大学脳神経外科	脳幹部海綿状血管腫の手術	脳神経外科速報 23(6):612-620, 2013
95	後藤哲哉	信州大学医学部附属病院脳神経外科	脳神経外科領域におけるロボット手術の現状	信州医学雑誌 62(1):67-69, 2014
96	村田貴弘	信州大学脳神経外科	手術待機例への保存的治療	Clinical Neuroscience 31:463-464, 2013
97	石塚 修, 横山 仁, 小川輝之, 西澤 理	泌尿器科	腹腔鏡下副腎摘除術202例の検討.	信州医誌 61: 225-232, 2013

98	石塚 修	泌尿器科	冷えと頻尿.	LUTSプライマリケア 14:14-15, 2013
99	石塚 修, 西澤 理	泌尿器科	信州大学医学部附属病院におけるロボット支援 腹腔鏡下手術.	長野医報 611:23-25, 2013
100	石塚 修	泌尿器科	ロボット手術を経験して.	松本医師会報 542: 21-22, 2013
101	石塚 修, 西澤 理	泌尿器科	排尿日誌の基本的事項.	日本排尿機能学会雑 誌 24: 300-303, 2013
102	今村哲也, 石塚 修, 西澤 理	下部尿路医学講座	膀胱再生医療.	Medicament News. 2119 (2013/4/5): 6- 8, 2013
103	加藤晴朗, 西澤 理	泌尿器科	【前立腺全摘除術後の合併症 —予防と対処】 前立腺全摘除術後の吻合部狭窄および瘢痕化 (いわゆるdevastated bladder outlet).	臨床泌尿器科 67: 209-214, 2013
104	加藤晴朗	泌尿器科	【泌尿器科診療ベストNAVI】疾患・病態の診療 尿路・性器の損傷 膀胱・尿道損傷 膀胱陰嚢・ 尿管損傷・尿管腫瘍.	臨床泌尿器科 67: 126-127, 2013
105	加藤晴朗	泌尿器科	【泌尿器科診療ベストNAVI】疾患・病態の診療 尿路・性器の損傷 膀胱・尿道損傷 膀胱損傷.	臨床泌尿器科 67: 123-125, 2013
106	加藤晴朗	泌尿器科	【泌尿器科診療ベストNAVI】疾患・病態の診療 尿路・性器の損傷 膀胱・尿道損傷 尿道損傷.	臨床泌尿器科 67: 120-122, 2013
107	栗崎功己	泌尿器科	尿路機能障害および尿路閉塞性疾患 下部尿 路機能障害, 046 過活動膀胱(切迫性尿失禁 を含む), 047 腹圧性尿失禁, 047 神経因性 膀胱.	臨床泌尿器科 増刊 号 泌尿器科診療ベ ストNAVI 67, 2013
108	西澤 理, 岸蔭貴 裕, 原 寛彰	泌尿器科	【後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患 TOP 30】疾患 尿失禁.	泌尿器外科 26(特 別号):359-371, 2013
109	西澤 理, 常陰明 乃	泌尿器科	【主訴から診断へ—臨床現場の思考経路】泌尿 器の訴え 排尿困難・排尿痛・尿失禁・尿閉 下 部尿路症状を訴える患者への対応.	診断と治療 101 (Suppl) 322-329, 2013
110	西澤 理	泌尿器科	バップフォーUp to date バップフォー温故知新 バップフォー20年と, これからに向けて.	排尿障害プラクティス 21:165-171, 2013

111	本間之夫, 武田正之, 朝倉博幸, 井川靖彦, 柿崎秀宏, 河邊香月, 後藤百万, 小柳知彦, 関戸哲利, 高橋 悟, 武井実根雄, 西澤理, 山西友典, 横山修, 吉田正貴, 山上英臣, 山口 脩	泌尿器科	LUTSの最近の知見と展望 LUTS Expert Forumの総括から今後を考える。	泌外 26:1701-1709, 2013
112	横山良仁, 河野透, 石塚 修	泌尿器科	牛車腎気丸はTRPV4, TRPM8, TRPV1を介して末梢神経障害, 冷えを改善する。	漢方医学 37:188-193, 2013
113	齊藤徹一, 加藤晴朗, 小口智彦, 横山仁, 井上博夫, 石塚修, 西澤 理, 山下俊郎, 水沢弘哉	泌尿器科	勃起・射精機能温存を目的とした前立腺温存膀胱全摘除術を施行した膀胱癌の1例。	日本性機能学会雑誌 28:83-87, 2013
114	横山 仁, 齊藤徹一, 鈴木都史郎, 山岸貴裕, 井上博夫, 石塚修, 西澤 理	泌尿器科	高度肥満症例(Body mass index: 62.6)に対するハンドアシスト併用腹腔鏡下根治的腎摘除術の1例。	泌尿紀要 59: 231-234, 2013
115	横山 仁, 加藤晴朗, 井上博夫, 小宮山 斎, 米山威久, 中沢功, 石塚 修, 西澤理	泌尿器科	前立腺全摘除術における閉鎖リンパ節転移陽性部位の検討。	日泌尿会誌 105:3-9, 2014
116	今井 章	眼科	脳血管奇形が併発した両眼網膜血管ループ形成症の1例	臨床眼科 67:1125-1128 2013
117	今井 章	眼科	広角デジタル眼底カメラを用いて観察したBloch-Sulzberger症候群の1例	眼科臨床紀要 6:753-758 2013
118	前沢 千種	眼科	緑内障のおける黄斑部ganglion cell complex厚と視力の相関	眼科 56:425-432 2014
119	佐藤梨里子一	耳鼻咽喉科	補聴器適合検査の指針(2010)による補聴器適合評価の検討	Audiology Japan 58 82-90 2013
120	西尾信哉	耳鼻咽喉科	難聴の遺伝子診断と次世代シーケンス解析	医学のあゆみ 245 (5) 393-400 2013
121	宇佐美真一	耳鼻咽喉科	残存聴力活用型人工内耳挿入術 残っている聴力を活用しながら人工内耳で聞こえを取り戻す	家庭画報 6月号 259-262 2013
122	鬼頭良輔	耳鼻咽喉科	外切開にて切除した長大な茎状突起過長症の1例	口咽科(日本口腔・咽喉科学会雑誌) 26 (1) 105-109 2013
123	森健太郎	耳鼻咽喉科	ダウン症を伴った小児睡眠時無呼吸症候群に対する口蓋扁桃・アデノイド手術の検討	耳鼻臨床 106(4) 323-328 2013

124	工 穰	耳鼻咽喉科	IV.比較的頻度の高い疾患の臨床遺伝医療と遺伝カウンセリング 遺伝性難聴の遺伝子診療	小児科診療 76(7) 1123-1130 2013
125	鈴木美華	耳鼻咽喉科	難聴遺伝子変異が確認された人工内耳装用児における神経反応テレメトリの検討	Audiology Japan 56 243-248 2013
126	鈴木宏明	耳鼻咽喉科	人工中耳(Vibrant SoundbridgeR)正円窓刺激法を実施した1症例:補聴器との比較	Otol JPN 23(3) 204-209 2013
127	鈴木伸嘉	耳鼻咽喉科	補聴器適合検査の指針(2010)による補聴器購入結果との関連性について	Audiology Japan 56 306-312 2013
128	海沼和幸	耳鼻咽喉科	頭頸部扁平上皮癌における健側頸部リンパ節転移の検討	頭頸部外科 23(2) 241-248 2013
129	工 穰	耳鼻咽喉科	睡眠時無呼吸に関する簡易検査	JOHNS 29(9) 1614-1618 2013
130	志摩温	耳鼻咽喉科	輪状甲状靭帯切開によって救命し得た深頸部感染症の1例	耳喉頭頸 106(12) 1089-1094 2013
131	鬼頭良輔	耳鼻咽喉科	先天性Saccular Cystに対する内視鏡下開窓術例	耳鼻臨床 106(12) 1089-1094 2013
132	吉村豪兼	耳鼻咽喉科	Usher症候群タイプ1の原因遺伝子と前庭機能評価についての検討	Equilibrium Res 72 (6) 467-471 2013
133	岩崎聡	耳鼻咽喉科	一側性難聴児における先天性サイトメガロウイルス感染症の関与	Otol JPN 23(5) 848-853 2013
134	工 穰	耳鼻咽喉科	小児の睡眠障害	Progress in Medicine 33(12) 2625-2628 2013
135	谷野静絵、清澤恵未、角田玲子、田中恭子、高津亜希子、菊地範彦、大平哲史、金井 誠、塩沢丹里	産科婦人科学	Chronic Abruptio-Oligohydramnios Sequence (CAOS)の2例	関東連合産科婦人科学会誌 50 (1):25-30,2013
136	角田英範、高津亜希子、菊地範彦、大平哲史、金井 誠、塩沢丹里	産科婦人科学	経膈分娩後に子宮仮性動脈瘤と診断された1例	長野県母子衛生学会誌 15:36-41,2013
137	藤井由起子、谷野静絵、石川香織、田中恭子、高津亜希子、菊地範彦、大平哲史、金井 誠、塩沢丹里	産科婦人科学	妊娠中に腹腔鏡下脾臓摘出術を施行した血小板減少性紫斑病合併妊娠の1例	日本産婦人科・新生児血液学会誌 22 (2):81-87,2013

138	今西俊明、宮本 強、古川 哲平、岡 賢二、鹿島大靖、橋 涼太、小原久典、芦田 敬、近藤沙織、塩沢丹里	産科婦人科学	妊娠初期に診断し保存的に治療し得た腹腔妊娠の1例	関東連合産科婦人科学会誌 51(1):125-131,2014
139	宮本 強、塩沢丹里	産科婦人科学	【婦人科がんの予防戦略と早期診断】子宮体がん 月経異常患者の子宮体がん予防	臨床婦人科産科 67(8):805-812,2013
140	宮本 強、塩沢丹里	産科婦人科学	【進行婦人科がんの集学的治療】子宮頸がん 進行子宮頸がんの根治手術 術前化学療法後の広汎子宮全摘	臨床婦人科産科 67(11):1099-1104,2013
141	鹿島大靖、塩沢丹里	産科婦人科学	【産婦人科当直医マニュアルー慌てないための虎の巻】婦人科編 「救急/時間外」の婦人科疾患 卵巣出血	臨床婦人科産科 67(4):23-26,2013
142	高津亜希子、塩沢丹里	産科婦人科学	【プロメテウス 婦人科がん最新医療】子宮頸がんの臨床病理学 子宮頸部悪性腺腫、LEGH、胃型腺癌	産婦人科の実際 62(12):1638-1643,2013
143	鈴木昭久、塩沢丹里	産科婦人科学	【次世代の婦人科がん治療を展望する】ハイリスク子宮体癌に対する新治療開発	産婦人科の実際 62(3):331-338,2013
144	菊地範彦、大平哲史、金井 誠	産科婦人科学	【周産期の画像診断 第2版】母体・胎児編 超音波診断 A.妊娠初期流産・胞体奇胎	周産期医学 43(増刊):83-87,2013
145	塩沢丹里	産科婦人科学	子宮頸部嚢胞性病変の取り扱い(子宮頸癌)	日本産科婦人科学会雑誌 65(4):1245-1252,2013
146	川股知之	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	手・上肢手術後鎮痛-麻酔科からの視点-	整形・災害外科 56(13):1549-1553,2013
147	川股知之	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	薬物治療	日本臨牀 71(増刊2):421-425,2013
148	川股知之	信州大学医学部麻酔蘇生学講座、札幌医科大学医学部麻酔科学講座	パクリタキセルのターゲットはグリア細胞 外套細胞より供給されるL-セリンに注目した化学療法誘起末梢神経障害の機序	日本薬理学雑誌 141(2):71-75,2013
149	田中秀典	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科、関西労災病院麻酔科、国立成育医療研究センター産科麻酔科	帝王切開術麻酔の現況に関する全国アンケート調査の結果報告	日本臨床麻酔学会誌 33(3):411-420,2013
150	小池康志	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	フルマゼニル投与により覚醒した長時間全身麻酔後覚醒遅延の1症例	麻酔 62(4):449-465,2013
151	持留真理子	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	頸椎骨折を合併した緊急帝王切開の麻酔経験	麻酔 62(4):462-465,2013

152	日向俊輔	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科、長野県立須坂病院麻酔科	妊娠中に脊髄腫瘍摘出術を施行した1症例	麻酔 62(5):609-612,2013
153	清澤研吉	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	側彎症妊婦の帝王切開における脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔の経験	麻酔 62(7):859-862,2013
154	関口剛美	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	エアウェイスコープ®挿管時に咽頭裂傷を来した挿管困難の1症例	麻酔 62(12):1410-1412,2013
155	中澤遥	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	高度肥満患者における腹腔鏡下腎摘除術の麻酔経験	麻酔 62(12):1446-1449,2013
156	浦澤方聡	信州大学医学部麻酔蘇生学講座、北里大学病院総合周産期母子医療センター産科麻酔部門	弾性ストッキングの関与が疑われた、術後腓骨神経麻痺の1例	分娩と麻酔 95:36-39,2013
157	日向俊輔	信州大学医学部附属病院麻酔科蘇生科、北里大学病院総合周産期母子医療センター産科麻酔部門	発症直後に蘇生を開始し後遺症なく救命しえた羊水塞栓症の1症例	麻酔 62(12):1435-1439,2013
158	藤田研也、杠 俊介、大坪美穂、柳澤大輔、戸澤ゆき、大畑えりか、高清水一慶、松尾 清	信州大学医学部形成外科	口蓋裂術後の哺乳におけるシリコンゴム製のみ口(Kiss R2)の有用性	日本口蓋裂学会雑誌
159	岩下具美、望月勝徳、高山浩史、新田憲市、小林尊志、岡元和文	信州大学医学部附属病院救急科	ドクターヘリの消防機関向け協働手順の作成	日本航空医療学会 14(1):26-32,2013
160	岩下具美、高山浩史、新田憲市、望月勝徳、戸部理絵、新井雅子、関昌代、江津篤、新友香子、岡元和文	信州大学医学部附属病院救急科	長野県におけるドクターヘリ運用の多様性	日本救急医学会 9:5-10,2013
161	岡元和文	信州大学医学部附属病院救急科	これからの集中治療医のあるべき姿とはー集中治療医への道ー	ICUとCCU 37(2):95-100,2013
162	古庄知己	遺伝子診療部	遺伝カウンセリングロールプレイ実習～全人的医学教育としての取り組み～	日本遺伝カウンセリング学会誌 34(1):20, 2013.
163	古庄知己	遺伝子診療部	デルマタン4-O-硫酸基転移酵素-1欠損に基づく新型エーラスダンロス症候群の発見と疾患概念の確立	日本遺伝カウンセリング学会誌 34(1): 21-29, 2013.
164	古庄知己	遺伝子診療部	信州大学医学部附属病院遺伝子診療部の取り組み～小児科出身の臨床遺伝科医として思うこと	日本遺伝カウンセリング学会誌 35(1): 15 - 26 2014
165	百瀬華子、井出貴之、立石一成、小泉知展	信州がんセンター	Carboplatin併用化学療法時における悪心・嘔吐の発現に関する実態調査	癌と化学療法 40: 355-359, 2013

166	横山俊樹、津島健司、立石一成、市山崇史、小坂充、堀内俊道、和田洋典、小泉知展、久保恵嗣	信州がんセンター	間質性肺疾患に対するPMX-DHP療法の治療経験	エンドキシン血症救命治療研究会誌 17(1): 57-63, 2013
167	出浦弦、吾妻俊彦、角田敏行、横山俊樹、久保恵嗣、小泉知展	信州がんセンター	関節リウマチに起因する間質性肺炎の経過中に発症した肺原発悪性リンパ腫の1例	信州医誌 61: 13-18, 2013
168	佐々木茂	信州がんセンター	基底細胞癌の放射線治療	日本臨牀 71(4): 642-645, 2013
169	鈴木敏郎、林氏美江、山田博美、飯沼伸佳、高木哲、下條久志、小泉知展	信州がんセンター	原発不明の印環細胞癌を含む粘液産生性腺癌の1例	信州医誌 61(5): 283-287, 2013
170	佐々木茂	信州がんセンター	放射線と肺癌(治療後の二次発症を含めて)	日本臨牀 71(6): 146-149, 2013
171	佐々木茂	信州がんセンター	有棘細胞癌の放射線治療	日本臨牀 71(4): 517-520, 2013

計 6  
合計 171

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理審査申請の手引き	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回（適宜）

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年数回
・ 研修の主な内容 病院倫理講演会9/26 公開セミナー（臨床研究の質の向上に向けた行動規範学習のすすめ等）7/9, 1/30	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。



(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科学（1）（呼吸器・感染症内科）大学院・専門医コース，呼吸器専門医・感染症 専門医コース，消化器（肝・胆膵・消化管）専門医コース，血液内科専門医コース，腎臓・透析専門医コース，脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、内科総合 専門医コース，脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、内科総合 社会人大学院コース，脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、内科総合 フルタイム大学院コース，脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、内科総合 診療専門コース，大学院・研究コース，臨床コース，一般循環器内科コース，循環器内科サブスペシャリティ取得コース，大学院・研究コース，一般精神医学コース，大学院・研究コース，精神科サブスペシャリティ取得コース，小児科専門医コース，一般皮膚科コース，大学院・研究コース，皮膚科サブスペシャリティ取得コース，放射線科専門医コース，放射線診断専門医コース，放射線治療専門医コース，外科コース，一般整形外科コース，大学院・研究コース，整形外科サブスペシャリティ取得コース，脳神経外科 専門医コース，泌尿器科 コース，眼科 専門医コース，専門医コース，一般産婦人科コース，研究コース，産婦人科サブスペシャリティ取得コース，麻酔科専門医コース その1（卒後臨床研修2年修了後、大学院・学位取得），麻酔科専門医コース その2（卒後臨床研修2年修了後、大学院・学位取得），形成外科専門医コース，一般救急・集中治療医コース，大学院・研究コース，病理・検査 専門医コース，臨床遺伝 専門医コース，精神科サブスペシャリティ取得コース

2 研修の実績

研修医の人数	121人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症内科	教授	24年	
田中 榮司	消化器内科 血液内科	教授	35年	
樋口 誠	腎臓内科	診療教授	27年	
池田 修一	脳神経内科 リウマチ・膠原病内科	教授	35年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌代謝内科	教授	27年	
池田 宇一	循環器内科	教授	35年	
天野 直二	精神科神経科	教授	38年	
小池 健一	小児科	教授	38年	
奥山 隆平	皮膚科	教授	24年	
角谷 眞澄	放射線科	教授	36年	

宮川 眞一	消化器外科 移植外科 小児外科	教授	31年	
天野 純	心臓血管外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科	教授	38年	
加藤 博之	整形外科	教授	34年	
本郷 一博	脳神経外科	教授	35年	
西澤 理	泌尿器科	教授	40年	
村田 敏規	眼科	教授	27年	
宇佐美 真一	耳鼻いんこう科	教授	32年	
塩沢 丹里	産科婦人科	教授	27年	
川眞田 樹人	麻酔科蘇生科	教授	27年	
松尾 清	形成外科	教授	35年	
岡元 和文	救急科	教授	40年	
本田 孝行	臨床検査部	教授	32年	
福嶋 義光	遺伝子診療部	教授	36年	
天野 直二	子どものこころ 診療部	教授	38年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 本郷 一博
管理担当者氏名	副病院長 (事務担当) 邊見 達義 総務課長 川村 金蔵 経営管理課長 丸田 由男 医事課長 北林 俊和 医療支援課長 花立 久雄

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 診療情報管理室	電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。 紙媒体の諸記録は、診療情報管理室が管理する記録保管庫管理している。 また、診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録管理要項」により禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の確項の各号及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	

	第一項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
--	-----	------------------------------------	-----	--

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御室
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第二十三	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第一項	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	経営管理課
	第一号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課
	に掲げる	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課
体制の	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課	
確保の			
状況			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 本郷 一博
閲覧担当者氏名	副病院長(事務担当) 邊見 達義 総務課長 川村 金蔵 経営管理課長 丸田 由男 医事課長 北林 俊和 医療支援課長 花立 久雄
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要  閲覧希望者より申請が有った際には、総務課にて記録を閲覧させている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： 医療安全管理に関する基本的な考え方 医療安全管理のため組織に関する基本的事項 医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 医療事故の防止対策の検討及び推進 再発防止策の提言 医療事故防止のための教育及び研修に関する事項 医療事故防止マニュアルの改訂 各委員会などへの指導と連携（輸血療法委員会、病院情報システム委員会、医療用電子機器管理センター会議、医薬品情報管理室との連絡会議、など）	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年13回
・ 研修の主な内容： 医療安全の基本的考え方と具体的対策 AEDを用いた一次救命処置（BLS）の講義と実技 院内急変シミュレーション 患者さんの安全管理 超音波ガイド下中心静脈穿刺の講義と実技 病院職員のための情報取り扱いルール これだけは知っておきたい！ 医薬品安全管理のための基本情報 転倒・転落防止のためにできること インスリン 作用と適正使用について 事例検討会 講演会「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全管理室ニュースによる注意喚起と周知徹底 院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介（情報共有）による注意喚起 各部署の医療安全に係わる改善・対策プランを部署医療安全管理者会議で周知徹底する 医療安全に関わる講演会の実施 医薬品情報管理室や医療用電子機器管理センターとの連携による安全管理の徹底 インシデント報告の中の重要事例についてワーキングを立ち上げ、マニュアルやルールを作成する。（小児へのMRI検査時の鎮静について など） 院内ラウンドによる安全管理状況の確認及び指導	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任（ 3 ）名 兼任（ 8 ）名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定</li> <li>医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項</li> <li>医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること</li> <li>医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有



(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療関連感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 感染制御室運営委員会の設置</li><li>3. 医療関連感染対策に関する職員研修</li><li>4. 医療関連感染発生時の対応</li><li>5. 医療関連感染対策ガイドライン</li><li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧および情報提供と説明に関する基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 抗菌薬使用動向</li><li>2. JANIS検査部門還元情報報告</li><li>3. 医療関連感染に関する啓発および職員研修の企画</li><li>4. 感染制御室内規、医療関連感染ガイドライン等の改訂について</li><li>5. アウトブレイク事象についての対応、職員への周知</li><li>6. 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）について</li><li>7. 医療関連感染サーベイランスについて</li><li>8. 院内ラウンド報告、改善活動</li><li>9. その他感染管理に関する事項の検討、決定</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療関連感染対策の基礎：新規採用者・中途採用者・復帰者</li><li>2. 手指衛生トレーニング：新入職看護師</li><li>3. 標準予防策（手指衛生）、冬期の感染症予防：全職員</li><li>4. 外部講師を依頼した講演会「免疫不全と感染症」：全職員</li><li>5. 抗MRSA薬の使い方：研修医</li><li>6. その他、リンクスタッフ・外部委託職員対象の研修会</li></ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療関連感染サーベイランスの実施とフィードバック</li><li>2. アウトブレイク対応</li><li>3. ICTラウンドおよび環境ラウンドの実施：コンサルテーション、フィードバック、改善報告の確認</li><li>4. 職員の血液・体液曝露サーベイランスの実施、情報提供</li><li>5. 患者又は家族へ感染に関わる情報を提供、共有し、理解を得た上で協力を求める</li></ol>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容： これだけは知っておきたい！医薬品安全管理のための基本事項」（処方ならびに医薬品管理・配薬の際の注意事項について）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ( ○・無 ) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 保険調剤薬局との連携 等</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ○・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 (メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている) 医薬品情報管理室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的(月1回)な連絡会議開催。 (院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じる) 院内での医薬品副作用報告体制の整備 (電子カルテシステムから副作用報告を可能とし、報告体制の整備、周知をおこなった。)</p>	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年40回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺および補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置）の研修 AED等必要な機器の研修</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 (有・無)</li><li>保守点検の主な内容： 年1回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼</li></ul>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・ 日本医療機能評価機構 平成26年2月審査 平成26年5月評価の認定（更新）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院や各診療部署ごとにホームページを公開し、様々な情報を発信している。 地域住民などを対象とする市民公開講座や研修会を毎年開催している。 大学医学部に設置された地域保健推進センターと連携して、地域住民を対象とした研修や、啓発活動を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 以下の組織は複数診療科により対応している。 ・ 先端心臓血管病センター：循環器内科、心臓血管外科、小児循環器が連携して心臓血管疾患の先端医療を提供している ・ 胸痛センター：高度救命救急センターと心臓血管外科が連携して循環器救急医療をおこなっている	

- ・呼吸器センター：呼吸器内科、呼吸器外科が連携して呼吸器疾患の先端医療を提供している
- ・信州がんセンター：化学療法、放射線治療および緩和医療の専門医を終結し、集学的かつ臓器横断的にがん診療をおこなっている。

また、本院で設置している医療チームのうち以下は複数診療科の医師、看護師等で構成している

。

緩和ケアチーム、呼吸サポートチーム、栄養サポートチーム、褥瘡管理チーム